

2019年イギリス総選挙：

British Election Study Internet Panel

データの予備的分析

成 廣 孝

1. はじめに

本稿でわれわれが試みるのは、BES 個票および選挙結果のアグリゲートデータを用いた2019年イギリス総選挙の予備的分析である。先行する選挙との比較による立体的・理論的把握の前段階として、この選挙の大まかな特徴を描き出すとともに、データの大まかな特徴を把握することが目的である。

1.1 2019年総選挙実施までの経緯

2019年総選挙は、2019年12月12日という、近年のイギリス総選挙の歴史を多少なりとも知るものにとってみれば、非常に不似合いな時期に実施された。しかも、この10年間ですでに4回目の総選挙である。もうすでに2017年、EUからの残留・離脱を問うレフェレンダムにおける敗北を受けて辞任したデイヴィッド・キャメロンの後を襲ったテリーザ・メイのもとで順調な適用が妨げられていたとはいえ、保守自由民主連立政権のもと2011年に導入された議会任期固定制度の趣旨に忠実であれば、首相による解散総選挙の実施に制約が課された状況において予定されていた選挙日程は2022年であった。議会任期固定制は、EUからの離脱決定後もEUとの離脱条件をめぐる交渉がもつれ離脱予定日を守れなかった責任をとって辞任したメイによって既に蹂躪され、後を引き継いだボリス・ジョンソンがあらためて政治的モメンタムを得ようと総選挙に打って出た結果、2015年の一回しか守られずに終わりそ

うである。⁽¹⁾

政権を引き継いだ当初、ジョンソンは英国が2019年10月31日に EU を離脱することを意図していた（‘I’d rather be dead in a ditch than ask for Brexit delay.’⁽²⁾）。前任者が当初の3月29日の離脱期日を守れなかったのち引き継いだ日付であるが、議会の停会期間を引き伸ばすという提案が最高裁によって否定されたあと、この日付も遵守が困難になったため、議会任期固定法の規定に従い2/3の賛成を求める動議が提出された。この No Deal による離脱交渉終了を禁じた EU（離脱）第2法（法案提出者のひとりである労働党議員 Hilary Benn の名前をとって通称ベン法と呼ばれる⁽³⁾）。法案提出段階では第6法案）が成立したのと同じ日にジョンソンが提出した10月15日早期選挙実施案は、野党のみならず保守党内から21名の造反を受けて葬られた。⁽⁴⁾

ジョンソンはベン法に従って EU との間で交渉期限（すなわち EU 離脱移行期間の開始日）の延長（2020年2月1日）を約す交渉をすることで労働党党首ジェレミー・コービンの同意を得て、議会任期固定法を回避のうえ単純多数決で可決することを条件とした「早期議会総選挙法案」を成立させた。これで12月12日の選挙実施が可能となったのである。ブレグジット交渉過程のイギリス議会の混乱を解散という抑制の手段によって打開できなかったことをうけてであろう、ジョンソン保守党の2019年総選挙マニフェストにおいて、国政改革の一環として議会任期固定制の廃棄が盛り込まれた。また、

(1) ジョンソンの議会運営がうまくいかなかったことは、そもそも彼が引き継いだ政権が、2017年総選挙の結果 DUP を閣外協力にとどめた議会少数派だったことにあり、それ自体は彼の責任でもなければ、議会任期固定法のせいでもなかったともいえる。2011年議会任期固定法については、Gardner(2015)、Hazell(2010)、小堀(2019)、河島(2012)、小松(2020)など。

(2) BBC のサイトにおける2019年9月5日付の記事 (<https://www.bbc.com/news/av/uk-politics-49601128>) から。そのほか、レフェレンダム以降の離脱条件審議のプロセスについては、庄司(2019)や Walker(2020)を参照のこと。

(3) UK Parliament のサイト (<https://lordslibrary.parliament.uk/research-briefings/lln-2019-0115/>, <https://services.parliament.uk/Bills/2017-19/europeanunionwithdrawalno6.html> および <https://www.parliament.uk/business/news/2019/september/commons-european-union-withdrawal-no6-bill/>) を参照のこと。

(4) その後元財務大臣も含む20名が Whip を停止されている。

コービンの労働党の2019年総選挙マニフェストに同様の主張が含まれていたため、いずれにせよ2011年法の命運は定まったともいえる。COVID-19をめぐる混乱もあり、EU との離脱後の関係もなかなか合意に達しない中、2011年法の廃棄にむけた議会会期固定法（廃棄）法案（Fixed-term Parliaments Act (Repeal) Bill）の Draft が公表された2020年12月1日まで、ほぼ1年を要した。これが法律になれば、首相の助言を受けて（女）王が議会を解散する特権が回復されることになる。⁽⁵⁾

下院の報告書（Uberoi et al. 2020）に示された2019年総選挙の概略は以下の通り（北アイルランドを除く）である。保守党が長年労働党の牙城となっていた選挙区まで奪って大勝し、前回2017年選挙において生じていた「宙吊り」状態を脱した。ポピュリスト政党 UKIP およびそれから分離したナイジェル・ファラージの Brexit 党は1議席も確保できなかった。二大政党の議席占有率も9割近くまで回復している。投票率は公式には67.3%であった（前回2017年から-1.5%）。先行する3度の選挙で2度明確な過半数が与えられなかったが、今回は久方振りに明確な勝者が生まれた。ただし、Curtice（2020）は、選挙制度による大政党へのプレミアムはあったと考えているものの、マージナル・シートが減っていることを理由に、これがFTPTの「平常」への復帰なのかという点には、留保を付している。今回、内部の意見対立の存在を無視するなら、であるが、Pro-Brexit、すなわち反EUの傾向を持つ政党が、47.6%、親EU派は残りの52.4%を獲得したことになる。ただし、議席率においてはおよそ57.8% vs 42.1%ということになる。FTPTの選挙制度のもとでは、選挙区における候補者の状況やその選挙区の状況によって大きく事情が変わってくるため、単純に得票率がそのまま議席

(5) The Conservative and Unionist Party (2019, : 48), The Labour Party (2019), および, Christine Sheldon による The Oxford University Political Blog の2020年12月5日付の記事 'Undoing the Fixed Term Parliaments Act' (<https://blog.politics.ox.ac.uk/undoing-the-fixed-term-parliaments-act/>), イギリス政府のサイト Policy paper Draft Fixed-term Parliaments Act (Repeal) Bill (<https://www.gov.uk/government/publications/draft-fixed-term-parliaments-act-repeal-bill>) を参照。

に反映されるわけではない。

Party	vote(%)	seats, seats(%)
Conservative	45.3	365 (57.8)
Labour	33.3	202 (32.0)
Liberal Democrats	12.0	11 (1.7)
SNP	4.0	48 (7.6)
Green	2.7	1 (0.2)
Brexit	2.1	0
Plaid Cymri	0.5	4 (0.6)
UKIP	0.1	0

今回使用する BES データにおける投票結果は以下の通りである。当然ながら公式の統計とは若干のズレがある。⁽⁶⁾

. tab p_past_vote_2019

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	17,261	43.09	43.09
L	12,579	31.40	74.50
LD	5,081	12.68	87.18
SN	1,746	4.36	91.54
PC	264	0.66	92.20
UK	32	0.08	92.28
G	1,329	3.32	95.60
O	547	1.37	96.96
Brx	988	2.47	99.43
i	229	0.57	100.00
Total	40,056	100.00	

1.2 本稿の目的、データと方法

本稿は、2019年 British Election Study Internet Panel データ（Fieldhouse

(6) 以下の表ではページの幅が足りなくなって表が崩れたり、図の凡例部分が大きくなりすぎることを防ぐために、政党名を略記している。C = 保守党, L = 労働党, LD = 自由民主党, SN = スコットランド国民党, PC = プライド・カムリ, UK = UKIP, G = 緑の党, O = その他, 10 = 支持政党なし, Brx = Brexit 党, I = 無所属, を意味する。

et al. 2020) を用いて2019年イギリス総選挙を分析するものである。各国で総選挙が行われる度にその結果の政治的意義を識るために得られるデータを分析することの重要性は敢えて繰り返すまでもなからう。今回の選挙について留意すべき点があるとするれば、それが20年2月の離脱はほぼ見えてきたとして、EU との新協定の策定がまだ確実に見通せない段階で行われた、広義の Brexit 期の、流動性の只中での選挙だったということであろう。イギリス政党政治の文脈での意味は後述する。主に使用するデータは、BESIP データの第1波(2014年)から第20波(2020年)までの累積(Combined)である。総選挙直後は第19波にあたる。時間的近接性や政党の変化(具体的には Brexit の登場)も考慮しながら、適宜他の Wave の変数も利用した。また、選挙区を単位とする分析のため、アグリデート・データとなる2019 BES Constituency Results with Census and Candidate Data を用いている。⁽⁷⁾

方法としては、まず記述統計によりデータの全体像を大まかに把握して、最後に選挙結果を説明するモデルを多変量解析(共分散構造分析によるパス解析)で検証するという、単発の選挙を分析する上でごくごく普通の手続きを踏むこととする。

2. 選挙間投票移動の分析

2.1 ミクロデータにみる投票移動

過去連勝していたときの労働党票はどこに消えたのか。一時は連立政権に入るまでになった自由民主党の票はどこに流れたのか。UKIP や Brexit の票はどうか。そして、それらと EU 離脱はどう関わっているのか。本章ではこれらの問いを検討する。

(7) Fieldhouse, E., J. Green., G. Evans., H. Schmitt, C. van der Eijk, J. Mellon & C. Prosser (2017) British Election Study 2019 Constituency Results file, version 1.0.

労働党の票はどこへ流れたか

. tab p_past_vote_2019 if p_past_vote_2005 == 2

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	2,148	27.23	27.23
L	3,958	50.18	77.42
LD	779	9.88	87.30
SN	356	4.51	91.81
PC	46	0.58	92.39
UK	7	0.09	92.48
G	222	2.81	95.30
O	101	1.28	96.58
Brx	229	2.90	99.48
i	41	0.52	100.00
Total	7,887	100.00	

. tab p_past_vote_2010 if p_past_vote_2005 == 2

2010 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	1,739	9.72	9.72
L	12,041	67.30	77.02
LD	2,964	16.57	93.58
SN	303	1.69	95.28
PC	83	0.46	95.74
UK	335	1.87	97.61
G	209	1.17	98.78
BN	114	0.64	99.42
O	104	0.58	100.00
Total	17,892	100.00	

. tab p_past_vote_2015 if p_past_vote_2005 == 2

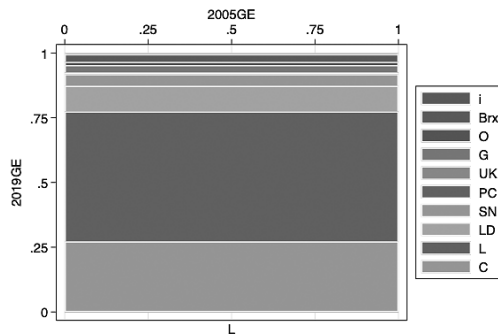
2015 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	1,918	12.14	12.14
L	10,020	63.44	75.58
LD	752	4.76	80.34

2015 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
SN	830	5.25	85.60
PC	84	0.53	86.13
UK	1,353	8.57	94.69
G	645	4.08	98.78
BN	9	0.06	98.84
O	184	1.16	100.00
Total	15,795	100.00	

. tab p_past_vote_2017 if p_past_vote_2005 = 2

2017 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	2,602	20.24	20.24
L	8,378	65.18	85.42
LD	771	6.00	91.42
SN	500	3.89	95.31
PC	61	0.47	95.78
UK	258	2.01	97.79
G	179	1.39	99.18
O	105	0.82	100.00
Total	12,854	100.00	

Fig. 1-1 2005年の労働党票と19年総選挙



2005年総選挙は、労働党が3回連続で下院の多数を制した史上初の選挙であり、トニー・ブレア最後の勝利となった選挙である。この選挙で労働党に投票したと回顧した回答者のうち、2019年も労働党を支持したのは半数の

50.18%にすぎない。1 / 4 強が保守党に奪われ、 3 %が UKIP から離脱した ナイジェル・ファラージの Brexit 党に流れている。ただし、2015年に UKIP に失った8.57%よりは少ない。地滑り的な勝利を取めた選挙から 3 %だけ、
 というのは、次第にマージナルな選挙区が減っている状況下においては大したことはないのかもしれない。そして、2017年に既に2005年の労働党支持者の 1 / 5 が保守党に流れており、さらにいえば保守党への流出は2010年から徐々に始まっていたのである。自由民主党には2010年に16.6%を奪われ、同党の連立政権参加に寄与したと思われるが、その後自由民主党自身の支持率が下がったこともあってであろう、労働党はこれのある程度取り戻しているようである。SNP にはスコットランド内だけで 5 %の得票とかなりの議席を程度失っているが、これは回復できていない。これに対して2014年欧州議会選での躍進を受けた UKIP が翌15年総選挙で8.5%を奪ったのがポピュリスト政党への最大の流出であることを考えれば、今回(UKIP 残党はいるが) UKIP の実質の後継政党 Brexit が議席ゼロに終わったことをみても、ポピュリスト政党は労働党にとって最大の脅威とはいえないように思える。

自由民主党と Brexit

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	375	11.32	11.32
L	562	16.96	28.27
LD	2,071	62.49	90.77
SN	43	1.30	92.06
PC	20	0.60	92.67
G	148	4.47	97.13
O	42	1.27	98.40
Brx	31	0.94	99.34
i	22	0.66	100.00
Total	3,314	100.00	

五五九

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	1,507	10.83	10.83
L	9,976	71.68	82.50
LD	1,191	8.56	91.06
SN	251	1.80	92.87
PC	61	0.44	93.30
UK	8	0.06	93.36
G	483	3.47	96.83
O	146	1.05	97.88
Brx	231	1.66	99.54
i	64	0.46	100.00
Total	13,918	100.00	

.0067064

二大政党への抗議票をめぐって競合しそうな自由民主党とポピュリスト政党の関係についてはどうか。数字的には、自由民主党から Brexit に流れたのは2017年に自由民主党に投票した者の0.94%に過ぎない。ファラージは12月12日、メディアに向けて、「われわれは自由民主党を殺し、労働党を傷つける」ことで、真の Brexit を達成するという目的のために貢献した、と述べた。⁽⁸⁾ しかしながら、自由民主党から Brexit に流れたのは2017年に自由民主党に投票した者の0.94%に過ぎない。労働党から流れた票は1.66%だった。0.0067すなわち0.7%である。

棄権者のゆくえ：2017年に棄権した者は2019年いずれの政党に投票したか

. tab p_past_vote_2019 if p_past_vote_2017 = .

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	1,408	39.35	39.35

五
五
八

(8) BBC News, 12 December 2019. 'General election 2019: 'I killed the Liberal Democrats and hurt Labour', says Farage' (<https://www.bbc.com/news/av/uk-politics-50765372>)

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
L	1,153	32.22	71.58
LD	461	12.88	84.46
SN	147	4.11	88.57
PC	20	0.56	89.13
UK	6	0.17	89.30
G	154	4.30	93.60
O	76	2.12	95.72
Brx	126	3.52	99.25
i	27	0.75	100.00
Total	3,578	100.00	

. display .381*0.0352
.0134112

. display .381*.0017
.0006477

. display .381*0.322
.122682

念のため、棄権者の動向も検討してみよう。2017年の棄権者またはDKは3.52%がBrexitに投票し、UKIPには.17%しか投票していない。棄権者を38.1%とすると、前者は平均で1.34%、後者は0.6%にしかない。労働党には棄権者から12.2%が投票しているので、前回ポピュリスト政党に投票した者から取り返すより、棄権者からの票を奪うほうがいくらか効果があったであろう。ただ、同じことは前回棄権者の39.35%を集めた保守党に対してよりありうることである。ただし、Brexitが候補者をたてた選挙区だけの効果は計算できない。棄権者から自由民主党へは12.88%（2017年が8.2、2015年9.1、2010年30.%）流れているので、前回棄権者からの自由民主党の取り分をBrexitが奪ったということはあるかもしれない。ただし、2017年以前はUKIPが棄権者を多い時（2015年）は7.9%取り込んだことがあるので、比べてBrexitが特に自由民主党に「殺す」ほどのダメージを与えたとはいえなさそうである。⁽⁹⁾

(9) Mellon (2020) もまた、自由民主党など小政党が選挙協定 United to Remain に参加し

2005年から2017年まで、棄権票はどう移動してきたか

. tab p_past_vote_2010 if p_past_vote_2005==.

2010 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	3,932	31.15	31.15
L	3,117	24.69	55.85
LD	3,792	30.04	85.89
SN	384	3.04	88.93
PC	107	0.85	89.78
UK	540	4.28	94.06
G	391	3.10	97.16
BN	187	1.48	98.64
O	172	1.36	100.00
Total	12,622	100.00	

. tab p_past_vote_2015 if p_past_vote_2010==.

2015 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	6,429	32.84	32.84
L	7,135	36.45	69.29
LD	1,790	9.14	78.43
SN	774	3.95	82.38
PC	118	0.60	82.99
UK	1,543	7.88	90.87
G	1,387	7.08	97.95
BN	23	0.12	98.07
O	378	1.93	100.00
Total	19,577	100.00	

. tab p_past_vote_2017 if p_past_vote_2015==.

五
五
六

たことによる戦術的投票への誘導、あるいはBrexitが保守党現職のいる選挙区に候補者をたてたことの、議席獲得に及ぼした効果は限定的だと考えている。労働党がたとえUnited to Remainに参加していても、総議席数に大きな変動はなかっただろうと推測している。加えていえば、キャンペーンによって誘導された効果と、自然に戦術的投票が選択されたことの弁別は事実上不可能なように思われる。

2017 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	2,628	31.11	31.11
L	4,184	49.53	80.63
LD	691	8.18	88.81
SN	257	3.04	91.86
PC	33	0.39	92.25
UK	239	2.83	95.08
G	248	2.94	98.01
BN	1	0.01	98.02
O	167	1.98	100.00
Total	8,448	100.00	

. tab p_past_vote_2019 if p_past_vote_2017==.

2019 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	1,408	39.35	39.35
L	1,153	32.22	71.58
LD	461	12.88	84.46
SN	147	4.11	88.57
PC	20	0.56	89.13
UK	6	0.17	89.30
G	154	4.30	93.60
O	76	2.12	95.72
Brx	126	3.52	99.25
i	27	0.75	100.00
Total	3,578	100.00	

2005年から2010年にかけて、棄権票は保守党および自由民主党に流れ、後者の政権参加を後押ししたと読める。しかし、10年に棄権した人々が引き続き自由民主党に投票したわけではない。連立政権参加時に被った不評の影響で、自由民主党は抗議票・浮動票のとりこみに成功しなかった。それらは結局15年から17年にかけて二大政党に還流したようであるが、労働党により多くを与えることによってハング・パーラメントを出現させることになる。その傾向は19年も続き、自由民主党にはもはや90年代から2000年代にかけての

勢いはない。代わって抗議票・浮動票を集めていたポピュリスト政党も、得票率をみても議席をみても、モメンタムを失ったようである。

2017年総選挙から2019年総選挙への全般的移動：アグリゲートデータによる選挙区単位の分析

2017 Winning party	Freq.	Percent	Cum.
Conservative	317	50.16	50.16
Labour	262	41.46	91.61
Liberal Democrat	12	1.90	93.51
Scottish National Party	35	5.54	99.05
Plaid Cymru	4	0.63	99.68
Green	1	0.16	99.84
Speaker	1	0.16	100.00
Total	632	100.00	

Variable	Obs	Mean	Std. Dev.	Min	Max
Con19	314	30.59599	12.16458	7.817916	63.06292
Brexit19	275	5.498443	4.733687	.64358	30.43926

Mean estimation Number of obs = 275

Labour: Winner17=Labour
_subpop_2: Winner17=Liberal Democrat
_subpop_3: Winner17=Scottish National Party
_subpop_4: Winner17=Plaid Cymru
Green: Winner17=Green
Speaker: Winner17=Speaker

Over	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
BrexitVote19				
Labour	2488.385	117.4809	2257.105	2719.665
_subpop_2	1018.9	112.8909	796.6562	1241.144
_subpop_3	839.3333	94.94012	652.4286	1026.238
_subpop_4	1827.25	248.1224	1338.781	2315.719
Green	770	.	.	.
Speaker	1286	.	.	.

837 2019年イギリス総選挙：British Election Study Internet Panel データの予備的分析

(bin=25, start=-24.903742, width=1.4580821)

Mean estimation Number of obs = 631

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
ConLib19	10.19342	1.225847	7.786175	12.60066

ファラージの宣言通り，Brexit は保守党の現職がいる選挙区で候補者を出さなかった。ただし，保守党の元職や新人がいる275選挙区には候補者をたてているので，これらと競合することになった。⁽¹⁰⁾全ての選挙区における保守党候補者と労働党候補者の得票率の差の平均は10.19% (標準偏差1.23)である。

. qui gen CL=Con19-Lab19

. mean CL

Mean estimation Number of obs = 631

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
CL	10.19342	1.225847	7.786175	12.60066

. mean CL if Winner17!=1 & Brexit19>0

Mean estimation Number of obs = 314

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
CL	-14.38439	1.305272	-16.95261	-11.81617

. mean Brexit19 if Brexit19>1

Mean estimation Number of obs = 269

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
Brexit19	5.602089	.2886643	5.033751	6.170427

これを保守党の現職がおらず，Brexit の候補者がいる選挙区に限ると，-14.38% (SE=1.31) となる。同じ選挙区における Brexit の平均得票率は，5.60% (.29) である。

(10) 議長 Lindsay Hoyle の選挙区 Chorley には，保守党は慣例に従って対立候補を立てず，Brexit も公認候補者を出さなかったが，同選挙区において2015年に UKIP の候補者となった Mark Smith が Mark Brexit-Smith として無所属で立候補して落選している。)。候補者を立てた場合の平均で，2,190.7票 (5.50%) を獲得している。

Brexit が候補者をたてた選挙区で労働党候補者を上回ったところは当然ながら、ない。

. tab Winner19 if LD19<Brexit19 & Brexit19!=.

2019 Winning party	Freq.	Percent	Cum.
Conservative	25	24.27	24.27
Labour	78	75.73	100.00
Total	103	100.00	

Fig. 1-2 労働党と Brexit

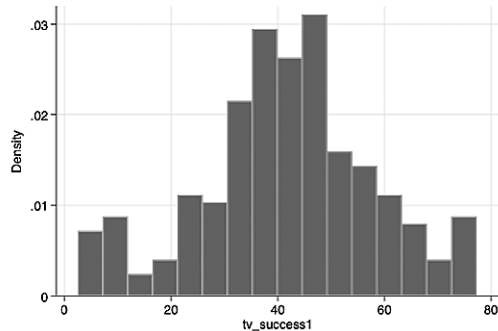
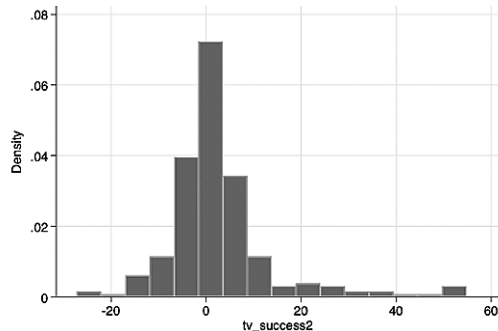


Fig. 1-3 自由民主党と Brexit の差



しかし、Brexit がただし候補者をたてた選挙区で自由民主党候補者を上回ったところは多数あり、その選挙区での当選は、保守党が25、労働党が78であった。このうち労働党が勝った選挙区は、いずれも Remain 派であるため、考慮する必要もなかろう。では、Brexit がいるために保守党が労働党に対す

835 2019年イギリス総選挙：British Election Study Internet Panel データの予備的分析

る勝利を納めたところがあるか。あるいは、保守党が自由民主党に勝利を取
めたところがあるだろうか。

```
. mean CoL if Winner17==2 & Winner19==1
```

Mean estimation Number of obs = 54

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
CoL	8.228706	.9230655	6.377271	10.08014

```
. //list CoL ConstituencyName if Winner17==2 & Winner19==1
```

```
. list CoL Brexit19 ConstituencyName Region if Winner17==2 & Winner19==1 & CoL <  
> Brexit19 & Brexit19!=.
```

	CoL	Brexit19	ConstituencyName	Region
55.	3.805283	3.840086	Birmingham, Northfield	West Midland
66.	1.74258	8.306616	Blyth Valley	North East
69.	.8678513	4.316283	Bolton North East	North West
87.	2.739368	4.287811	Bridgend	Wales
102.	3.46809	8.624051	Burnley	North West
104.	.2241592	2.647254	Bury North	North West
105.	.7996178	3.325775	Bury South	North West
147.	3.412659	4.043409	Clwyd South	Wales
172.	2.254364	5.136826	Delyn	Wales
186.	2.768269	3.323343	Dewsbury	Yorkshire an
187.	7.989082	13.74871	Don Valley	Yorkshire an
207.	2.400185	6.699117	North West Durham	North East
249.	1.359276	3.643425	Gedling	East Midland
302.	1.396141	8.322103	Heywood and Middleton	North West
303.	1.089108	2.172669	High Peak	East Midland
329.	.342762	.8774736	Kensington	London
349.	4.18272	6.728538	Leigh	North West
523.	2.08918	5.27284	Stoke-on-Trent Central	West Midland
629.	5.384108	5.975049	Ynys Mon	Wales

17年から19年にかけて保守党が労働党からゲインした54選挙区における両
党の得票率の差は8.22ポイント（SE = .92）である。うち、19年の Brexit の
得票のほうが両党の差（保守党のリード）を上回ったのは19区であった。地

域的には、北西部6、ウェールズ4、北東部、西ミッドランド、ヨークシャ、東ミッドランドがそれぞれ2、ロンドンが1である。これらにおける労働党の平均得票率は41.1%にのぼり、労働党が割と強い地域であったといえる。

以下、主な選挙区のプロフィールについて簡単に記す。

ブライス・ヴァレー (Blyth Valley) はイングランド北端の東海岸にあり、2017年まで、左派系無所属議員に議席を譲った一期以外、労働党の議席だった。前回リードが縮まっていたが、それでも20%近いギャップがあった。それを跳ね返しての保守党の議席獲得である。

北西部グレーター・マンチェスター南部の Leigh は戦前以来労働党のセーフシートで、同党は17年まで過半数を越える議席を保持してきた。大きなスイングで保守党が強奪した。Heywood and Middleton は北西部にあり、80年代から労働党が保持する議席であった。Burnley も北西部の選挙区で、労働党と自由民主党との争いが前者優位のもと展開されてきたが、100年振りに保守党が獲得している。この選挙区で Brexit 票 (8.6%) がどのように作用したかはわからない。保守党にせよ Brexit にせよ、この地域ではレフェレンダムでの離脱票が66.6%と高かった。Bury South は大マンチェスターの一角にあり、80年代に設置されて数回は保守党の議席だったが、97年から労働党が過半数の得票率を記録していた。2010年代に入って自由民主党や UKIP が10%を越えることもあり、労働党のリードが縮小していた。Bury North も同様の特性を持っているが、15年に保守党が議席を奪取し17年にはまた労働党が奪回するという、どちらにも転びうる選挙区だった。同地区のボルトン北東 Bolton North East は97年以來17年まで労働党が議席を保持し続けたが、リードは次第に狭まり、得票率の差が一桁のターゲットシートだった。西ミッドランドのバーミンガム北 Birmingham Northfield は、第二次大戦後に創設されて以降サッチャー時代まで労働党が支配し、80年代に数度保守党議席となったのち、92年から労働党が奪回していた。2015年に UKIP に16.7%を与えたが、保守党がそれを取り返せば労働党との差は大きくなかった(17年に10.5%差)。同地域のストーク・オン・トレント中央 Stoke on

Trent Cntral も戦後の創設以来、労働党の牙城だった。80年代の一部を除いて労働党が6割の票を集めるセーフ・シートだったが、2010年に自由党が21.7%、2015年はそれに代わって UKIP が22.7%、17年補選では24.7%を集めて第2党となり、3位保守党と三つ巴状況が生まれた。ところが17年総選挙で UKIP が支持を4.8%まで急激に減らし、そこで保守党が、過半数をわずかに越えるところまで回復した労働党に肉薄していた。これらの地域では、保守党を中心とする政権下で労働党の優位が徐々に切り崩され、UKIP など二大政党以外のB進出もみられていた。東ミッドランドのゲドリング (Gedling) はミドルクラス地域で、90年代後半のニューレイバーの勃興以来労働党の議席となった地域である。それでもリードは10ポイント内に収まっていたため、ターゲットとされてきた。今回は1.4ポイント差で保守党が議席を奪取した。北東部にあたるダラム北東 (North West Durham) は、戦後ながら労働党の地盤であったが、選挙区創設後はじめて保守党の手に落ちた。南ヨークシャのドン・ヴァレー (Don Valley) は前回保守党が41.7%を獲得するまで労働党のセーフシートだった。同じく南ヨークシャのデューズベリ (Dewsbury) は、労働党と保守党の差があまり大きくない、ここしばらくターゲットシートとされてきたところだった。High Peak はダービシャー北部、保守党と労働党が議席の奪い合いを続けてきた。北ウェールズの Delyn は80年代の設置後2回保守党が保持したが、その後92年から労働党が奪い、40%を越える得票を得ていたが、近年リードが狭まりつつあり、ターゲットと目されていた。同地域の Clywd South も97年の設置以来2000年代前半まで労働党のセーフシートだったが、2010年代にリードが10%前後になり、ターゲットシートの一つだった。同じくウェールズ北部 Ynys Mon は保守党・PC・労働党が三つ巴を演じてきた選挙区であった。南ウェールズの Bridgend は87年から17年まで労働党が保持してきたが、2010年以来保守党がリードを縮めてターゲットにしていた。ウェールズでは労働党の優位は続びはじめていた。最後に、ケンジントン (Kinsington) はグレーター・ロンドンの中心部にあり、アールズコートなど富裕層が住む地域を含む。前回労

働党の新人 Emma Dent Coad が保守党からコンマ以下の差で議席を奪ったが、それ以前は選挙区が創設された1974年から長らく保守党が保持してきた。今回は保守党が労働党にわずか0.3%の差で辛うじて奪回している。以上、数回の選挙で時間をかけて労働党の優位が切り崩されてきた選挙区が多い。UKIP が15年ごろに10%を越える議席を獲得して、その票(今回は Brexit)がどう動くかがポイントだった選挙区もいくつかあった。

Brexit に関して異なる陣営と認識されている政党間で、全ての票が流れることは想定しがたいのであるが、万が一この Brexit 票がすべて労働党に流れていれば、これらの選挙区は労働党のものだった可能性がないわけではない(だとしても保守党の勝利が揺るぐものではない)。ただし、同じく Brexit を推進する政党同士が票を食い合っただけというほうが可能性が高いように思える。

```
. mean CoLD if Winner17==3 & Winner19==1
```

```
Mean estimation      Number of obs      =      3
```

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
CoLD	12.48677	8.142763	-22.54872	47.52225

```
. list CoLD Brexit19 ConstituencyName if Winner17==3 & Winner19==1 & CoLD<Brexit19 & Brexit19!=.
```

	CoL	Brexit19	ConstituencyName
126.	1.281109	2.124323	Carshalton and Wallington

同じことを自由民主党についてみてみよう。17年から19年にかけて保守党が自由民主党からゲインしたのは3選挙区、これら選挙区における両党の得票率の差は12.49ポイント (SE=8.14) である。ただしこれは28.3ポイントもの差があった North Norfolk に引っ張られた数字である。結局、19年の Brexit の得票のほうが両党の差(保守党のリード)を上回っており、もし Brexit の得票が自由民主党にいったら保守党が敗れていた可能性のあったのは、Carshalton and Wallington ただ一箇所であった。この選挙区はロンドン南部に位置し、80年代から保守党と自由(民主)党のあいだで争われて

きた。2010年代は特に3p 圏内の接戦が続いてきた。自由民主党が前回から保守党に奪われた議席3のうち1つ（奪還は2なので差し引き+1）である。

この例でもまた、Brexit に関して異なる陣営と認識されている政党間で全ての票が流れることは想定しがたいのであるが、そうなっていれば、この選挙区が自由民主党ものとなった可能性がないわけではない。ただし、同じくBrexit を推進する政党同士が票を食い合っただけで、もうすこし保守党が楽に勝っていただけた可能性が高いように思われる。最後に、労働党と自由民主党の競争にBrexit が介入した可能性のある選挙区はOrkney & Shetlandで、自由民主党が議席を保持しているが、両者ともにRemain 派なので特に考慮する必要はなからう。

. tabchi p_past_vote_2019 p_past_vote_2017 if p_past_vote_2017!=5, adj

observed **frequency**
expected **frequency**
adjusted residual

2019 GE vote choice	2017 GE vote choice					
	C	L	LD	SN	UK	G
C	13057	1507	375	44	583	95
	6803.682	6077.507	1447.109	596.921	396.492	339.289
	134.312	-99.854	-39.415	-30.744	12.641	-17.865
L	541	9976	562	40	36	197
	4931.703	4405.329	1048.948	432.683	287.400	245.936
	-100.561	129.779	-19.090	-23.283	-18.169	-3.816
LD	1141	1191	2071	14	17	133
	1984.063	1772.299	422.000	174.072	115.623	98.942
	-26.941	-18.895	90.198	-13.242	-9.945	3.706
SN	34	251	43	1246	1	15
	690.751	617.026	146.919	60.603	40.254	34.447
	-33.990	-19.269	-9.206	158.819	-6.411	-3.427
PC	27	61	20	0	2	3
	49.091	43.851	10.441	4.307	2.861	2.448
	-4.199	3.316	3.110	-2.119	-0.516	0.357

2019 GE vote choice	2017 GE vote choice					
	C	L	LD	SN	UK	G
UK	5	8	0	1	11	1
	11.295	10.090	2.402	0.991	0.658	0.563
	-2.492	-0.841	-1.628	0.009	12.916	0.589
G	202	483	148	12	17	290
	500.469	447.052	106.447	43.909	29.165	24.958
	-18.033	2.209	4.297	-4.991	-2.319	54.520
O	149	146	42	4	38	24
	175.077	156.391	37.238	15.360	10.203	8.731
	-2.635	-1.068	0.824	-2.972	8.865	5.254
Brx	369	231	31	6	182	9
	359.712	321.319	76.509	31.559	20.963	17.938
	0.659	-6.517	-5.525	-4.693	36.045	-2.159
i	56	64	22	0	21	10
	75.157	67.135	15.986	6.594	4.380	3.748
	-2.945	-0.490	1.583	-2.625	8.063	3.273

9 cells with expected **frequency** < 5

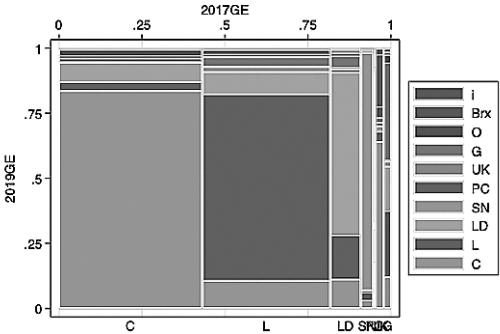
3 cells with expected **frequency** < 1

Pearson **chi2**(45) = 5.9e+04 Pr=0.000
 likelihood-**ratio chi2**(45) = 3.8e+04 Pr=0.000

次に、個票データに戻って、2017年総選挙から2019年総選挙への全般的移動についてクロス表で検討した。同じ政党への投票を繰り返すのが基本であるが、UKIP から分裂した Brexit への移動が顕著であること、自党への残留以外に、労働党票・自由民主党票が緑の党に一定程度流れていることがみとれる。これをさらに、16年レフェレンダムで残留・離脱いずれに投票したかでサンプルを分けてそれぞれについてスパインプロットを出力したのが Figure. 1-3 および 1-4 である。離脱派は保守党への投票をより強固にし、2017年に労働党に投票した者でも 1/4 を保守党に向かわせた。残留派との差は顕著である。17年の自由民主党支持者も、離脱派であれば半数近くが保守党に移動したのである。それ以外にも10%程度が Brexit に流れた。UKIP

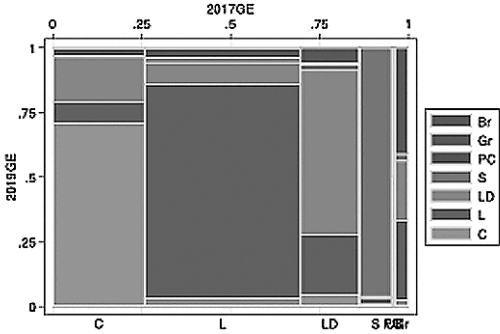
からは8割近くが保守党、残りはBrexitに移動した。これがわずかであっても保守党の議席を増やしたかもしれない。ふたつのグラフをみて、かわらず磐石に近いのはSNPのみといってもよいであろう。イングランドの場合、これにさらに小選挙区の効果がかかることになる。結果が保守党の圧勝だったのである。少なくとも19年の段階において、EU離脱がいかに決定的な影響を及ぼしたかみてとれよう。

Fig. 1-4 2017年総選挙と19年総選挙



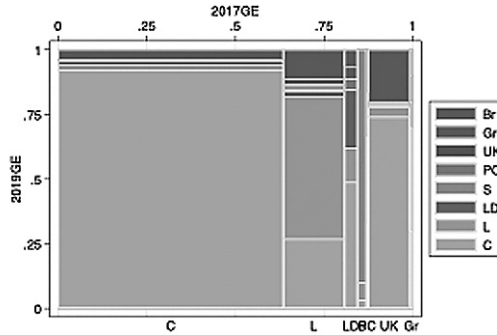
17年から19年への移動 (全回答者)

Fig. 1-5 2017年総選挙と19年総選挙 (Remainer)



17年から19年への移動 (Remain)

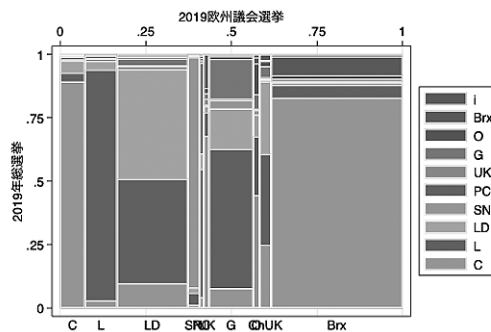
Fig. 1-6 2017年総選挙と19年総選挙 (Brexit)



17年から19年への移動 (Leave)

2005年総選挙に遡って投票先の移動をみる

Fig. 1-7 2019年欧州議会選挙から19年総選挙へ



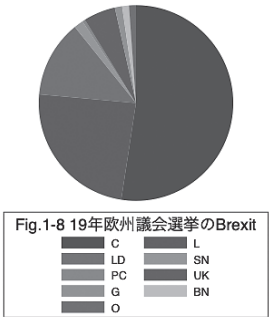
2019年欧州議会選挙から2019年総選挙への変化

このスパインプロットでみたかったのは、2019年欧州議会選挙から2019年総選挙への投票移動である。両者の間隔は半年弱である。欧州議会選挙で Brexit 党に投票したのはこの選挙で投票した有権者の30.5%にのぼり、半年で任期が切れることになる欧州議会の議席を29獲得、欧州議会におけるイギリス選出代議員数の第一位に躍り出た。この Brexit 党の票はどこからきたのか。

2005年の投票と欧州議会選挙2019

2005 GE vote choice	Freq.	Percent	Cum.
C	3,075	52.43	52.43
L	1,407	23.9	76.42
LD	748	12.75	89.17
SN	91	1.55	90.72
PC	29	0.49	91.22
UK	309	5.27	96.49
G	72	1.23	97.72
BN	66	1.13	98.84
O	68	1.16	100.00
Total	5,865	100.00	

Fig. 1-8 19年欧州議会選挙のBrexit



このグラフからすると、Brexit の票は、その半分（52.43%）が、2005年には保守党に投票していた層からきているのがわかる。労働党の票は24%である。それが支持を失えば、保守党支持が増えることに意外性はないように思われる。

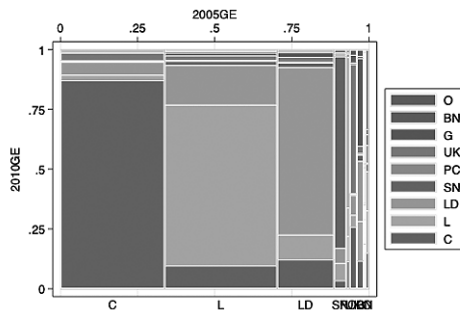
2005年の労働党支持者は19年欧州議会選挙でどの党を支持したか

. tab euroElectionVoteW16 if p_past_vote_2005 = 2

European election vote intention (recalled vote in post-election wave)	Freq.	Percent	Cum.
C	163	3.37	3.37
L	1,019	21.05	24.42
LD	1,008	20.83	45.25
SN	180	3.72	48.97
PC	67	1.38	50.35
UK	59	1.22	51.57
G	650	13.43	65.00
O	61	1.26	66.26
ChUK	226	4.67	70.93
Brx	1,407	29.07	100.00
Total	4,840	100.00	

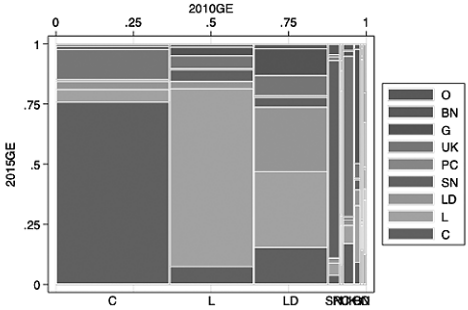
逆に、2005年に労働党に投じられていた票が2019年にどこにいったかをみると、引き続き労働党を支持したのが半分なのに対し、保守党が27%。自由民主党が10%、BrexitにUKIPを足しても3%にすぎない。下院の選挙制度のもとではやはり小政党に票は投じられない。2015年にUKIPに最大の9%を与えているが、それが精一杯である。

Fig. 1-9 2005年総選挙と10年総選挙



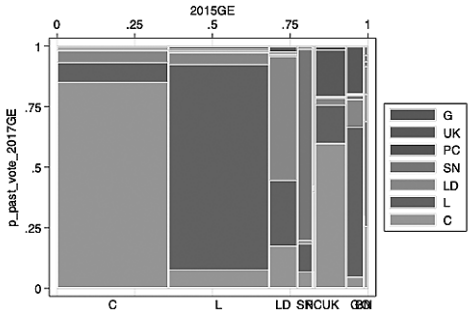
Variation from 2005 to 2010

Fig. 1-10 2010年総選挙と15年総選挙



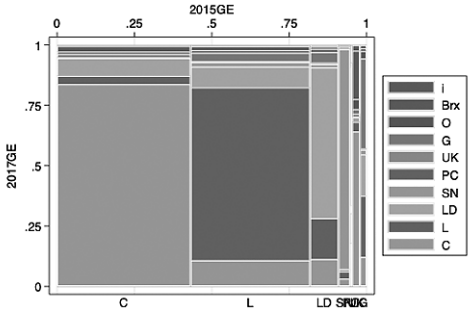
Variation from 2010 to 2015

Fig. 1-11 2015年総選挙と17年総選挙



Variation from 2015 to 2017

Fig. 1-12 2017年総選挙と19年総選挙



Variation from 2017 to 2019

政党アイデンティフィケーションと投票選択の関係

(file /Users/tigerhorse/Downloads/2019GE/spine_partyIdW20_GE19.png written in P

observed **frequency**
 expected **frequency**
 adjusted residual

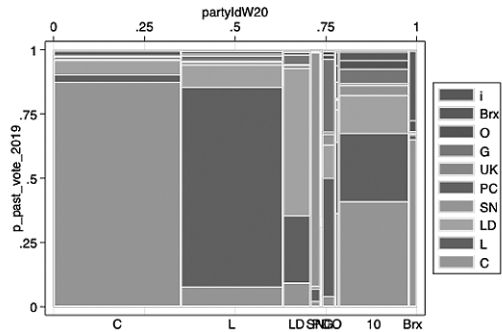
2019 GE vote choice	Party identification						
	C	L	LD	SN	G	10	Brx
C	8441	881	253	16	42	2137	531
	4370.794	3422.824	1049.732	391.219	431.471	2267.259	367.700
	103.606	-69.100	-34.743	-26.050	-25.791	-4.093	11.683
L	230	5513	609	9	438	1244	21
	2865.302	2243.854	688.159	256.466	282.854	1486.316	241.048
	-73.104	96.85	-3.762	-18.723	11.196	-8.297	-17.156
LD	590	664	1280	2	132	777	4
	1225.500	959.704	294.328	109.691	120.977	635.703	103.097
	-24.195	-12.024	64.288	-11.183	1.092	6.640	-10.604
SN	17	103	34	829	60	181	1
	435.267	340.863	104.538	38.960	42.968	225.786	36.618
	-25.551	-15.519	-7.382	131.634	2.707	-3.377	-6.115
PC	14	24	10	0	7	47	0
	36.243	28.382	8.704	3.244	3.578	18.800	3.049
	-4.610	-0.970	0.460	-1.834	1.845	7.215	-1.776
UK	3	3	1	1	0	6	7
	7.462	5.843	1.792	0.668	0.737	3.871	0.628
	-2.035	-1.385	-0.619	0.413	-0.874	1.199	8.169
G	91	153	89	3	250	241	9
	297.048	232.622	71.342	26.588	29.324	154.087	24.990
	-15.124	-6.242	2.220	-4.722	42.139	7.874	-3.299
O	45	50	16	2	1	146	24
	104.464	81.807	25.089	9.350	10.312	54.189	8.788
	-7.286	-4.162	-1.908	-2.456	0.219	13.885	5.238
Brx	181	125	13	3	3	169	204
	248.014	194.223	59.565	22.199	24.483	128.652	20.865

2019 GE vote choice	Party identification						
	C	L	LD	SN	G	10	Brx
i	5.369	-5.923	-6.391	-4.195	-4.478	3.990	41.239
	52	52	16	0	11	65	12
	73.907	57.877	7.750	6.615	7.29	38.338	6.218
	-3.186	-0.913	-0.436	-2.624	1.401	4.786	2.364

8 cells with expected **frequency** < 5
3 cells with expected **frequency** < 1

Pearson chi2(54) = 4.0e+04 Pr=0.000
likelihood-ratio chi2(54) = 2.6e+04 Pr=0.000

Fig. 1-13 政党アイデンティフィケーションと19年総選挙



政党アイデンティフィケーションと19年投票

政党アイデンティフィケーションと投票選択の関係をみる。当然ながら、政党アイデンティフィケーションを持つ者による投票が、最大のカテゴリになるのはいずれの政党でも同じである。政党アイデンティフィケーションをもたない者の投票は、調査回答者の23.57%を占める。Figure. 1-13では「10」にあたる。

```
. tabchi p_eurefvote partyIdW20 , adj  
  
observed frequency  
expected frequency  
adjusted residual
```

EU referendum vote (earliest recorded)	Party identification					
	C	L	LD	SN	P	G
I voted to remain	2654	5165	1632	491	86	701
	4696.843	3609.208	990.173	348.894	64.284	447.392
	-53.298	43.657	30.542	11.109	3.912	17.573
I voted to leave	6406	1797	278	182	38	162
	4363.157	3352.792	919.827	324.106	59.716	415.608
	53.298	-43.657	-30.542	-11.109	-3.912	-17.573

EU referendum vote (earliest recorded)	Party identification		
	O	10	Brx
I voted to remain	118	2544	9
	137.380	2792.703	313.123
	-2.395	-7.622	-25.061
I voted to leave	147	2843	595
	127.620	2594.297	290.877
	2.395	7.622	25.061

Pearson $\chi^2(8) = 5.2e+03$ Pr=0.000
likelihood-ratio $\chi^2(8) = 5.6e+03$ Pr=0.000

. tabchi p_eurefvote p_past_vote_2019 if partyIdW19==10 & p_past_vote_2019!=5
> & p_past_vote_2019!=6 & p_past_vote_2019!=13, adj

observed **frequency**
expected **frequency**
adjusted residual

EU referendum vote (earliest recorded)	2019 GE vote choice				
	C	L	LD	SN	G
I voted to remain	400	831	602	127	130
	953.852	537.514	338.54	79.684	102.788
	-33.066	20.105	21.457	7.430	3.784
I voted to leave	1623	309	116	42	88
	1069.148	602.486	379.460	89.316	115.212
	33.066	-20.105	-21.457	-7.430	-3.784

EU referendum vote (earliest recorded)	2019 GE vote choice	
	O	Brx
I voted to remain	54	7
	63.181	75.441
	-1.613	-11.034
I voted to leave	80	153
	70.819	84.559
	1.613	11.034

Pearson $\chi^2(6) = 1.5e+03$ Pr=0.000
likelihood-ratio $\chi^2(6) = 1.6e+03$ Pr=0.000

. tab p_turnout_2019

2019 GE turnout	Freq.	Percent	Cum.
No, I did not vote	5,049	11.10	11.10
Yes, I voted	40,441	88.90	100.00
Total	45,490	100.00	

. tabchi p_turnout_2019 partyIdW20 if partyIdW20!=5 & partyIdW20!=6, adj

observed **frequency**
expected **frequency**
adjusted residual

2019 GE turnout	Party identification				
	C	L	LD	SN	G
No, I did not vote	575	630	171	70	99
	1107.813	906.819	245.939	88.171	116.262
	-20.786	-11.436	-5.275	-2.084	-1.732
Yes, I voted	9087	7279	1974	699	915
	8554.187	7002.181	1899.061	680.829	897.738
	20.786	11.436	5.275	2.084	1.732

2019 GE turnout	Party identification		
	O	10	Brx
No, I did not vote	25	1719	67
	33.824	784.939	72.234
	-1.621	40.481	-0.662
Yes, I voted	270	5127	563
	261.176	6061.061	557.766
	1.621	-40.481	0.662

Pearson $\chi^2(7) = 1.7e+03$ Pr=0.000
likelihood-**ratio** $\chi^2(7) = 1.5e+03$ Pr=0.000

. tabchi p_turnout_2019 p_eurefvote if partyIdW20 = 10, adj

observed **frequency**
expected **frequency**
adjusted residual

2019 GE turnout	EU referendum vote (earliest recorded)	
	I voted to remain	I voted to leave
No, I did not vote	283	484
	362.151	404.849
	-6.183	6.183
Yes, I voted	2253	2351
	2173.849	2430.151
	6.183	-6.183

Pearson $\chi^2(1) = 38.2334$ Pr=0.000
likelihood-**ratio** $\chi^2(1) = 38.7266$ Pr=0.000

離脱派には2019年に投票しなかった者が多く、逆に残留派には今回投票した者が多かった。支持なし層も同様の傾向にあり、政党アイデンティフィケーションなし層は離脱票を投じた者が多いが、投票した者のなかで、離脱派は投票すれば保守党か Brexit を支持し、残留派は労働党か自由民主党か Green、スコットランド人であれば SNP に投票したのである。ただし、三大政党と地域政党に政党アイデンティティを持つ者が投票しているのに対して、Brexit 支持層は投票にっていない（平均より有意に少ないわけではないが⁸⁾。政党アイデンティフィケーションの強さを考慮すると、Brexit 支持者

でも強いアイデンティフィケーションをもっていれば投票に行っている。
しかし、さほど強くないアイデンティフィケーションであれば投票に行っていないこともわかる。

Brexit 支持者による戦略的投票の検討

```
. qui label values partyIdW19 generalElecVote_short  
. tabchi p_past_vote_2019 partyIdW19 if partyIdW19!=5, adj
```

		observed frequency expected frequency adjusted residual							
2019 GE vote choice		Party identification							
		C	L	LD	SN	UK	G	10	Brx
C		8441	881	253	16	116	42	2137	531
		4387.331	3435.774	1053.704	392.699	69.460	433.104	2275.837	369.091
		102.993	-69.355	-34.895	-26.142	7.578	-25.888	-4.358	11.579
L		230	5513	609	9	7	438	1244	21
		2851.747	2233.239	684.903	255.253	45.149	281.516	1479.285	239.908
		-72.716	97.196	-3.611	-18.656	-6.781	11.307	-8.062	-17.089
LD		590	664	1280	2	2	132	777	4
		1219.351	954.889	292.851	109.141	19.305	120.371	632.513	102.580
		-23.976	-11.841	64.506	-11.149	-4.225	1.154	6.801	-10.571
SN		17	103	34	829	0	60	181	1
		432.832	338.957	103.953	38.742	6.853	42.728	224.523	36.413
		-25.431	-15.419	-7.338	132.010	-2.686	2.752	-3.289	-6.096
PC		14	24	10	0	0	7	47	0
		36.040	28.223	8.656	3.226	0.571	3.558	18.695	3.032
		-4.574	-0.936	0.479	-1.829	-0.759	1.861	7.257	-1.771
UK		3	3	1	1	8	0	6	7
		10.247	8.024	2.461	0.917	0.162	1.012	5.315	0.862
		-2.817	-2.087	-0.974	0.088	19.525	-1.024	0.329	6.715

五三五

2019 GE vote choice	Party identification							
	C	L	LD	SN	UK	G	10	Brx
G	91	153	89	3	2	250	241	9
	296.093	231.874	71.113	26.503	4.688	29.229	153.592	24.909
	-15.054	-6.186	2.252	-4.712	-1.264	42.218	7.927	-3.287
O	45	50	16	2	3	11	146	24
	104.940	82.180	25.203	9.393	1.661	10.359	54.435	8.828
	-7.316	-4.197	-1.927	-2.465	1.047	0.204	13.808	5.212
Brx	181	125	13	3	14	3	169	204
	251.573	197.010	60.420	22.518	3.983	24.834	130.498	21.164
	-5.607	-6.112	-6.462	-4.235	5.100	-4.519	3.779	40.883
i	52	52	16	0	1	11	65	12
	73.847	57.830	17.736	6.610	1.169	7.290	38.306	6.212
	-3.174	-0.905	-0.432	-2.623	-0.157	1.404	4.791	2.366

13 cells with expected **frequency** < 5

4 cells with expected **frequency** < 1

Pearson chi2(63) = 4.0e+04 Pr=0.000

likelihood-ratio chi2(63) = 2.6e+04 Pr=0.000

当然ながら、政党アイデンティケーションが投票を規定する度合いは、イギリスのいかなる選挙においても高い。それはこのクロス表においても明らかである。今回着目するのは、Brexit を支持していた者の投票行動である。Brexit 支持者のコラムをみると、有意に多いと考えられるセルがもう一つあり、それはいうまでもなく、(いかなる形であれ) プレグジットを推進する政権政党、保守党である (調整済み残差が11.76)。Brexit は保守党現職のいる選挙区に候補をたてなかったの、Brexit 支持者としては戦略投票をせざるを得なかったのだと考えられる。

小政党支持と戦略的投票についての考え方

Summary statistics: mean
by categories of: p_past_vote_2019 (2019 GE vote choice)

p_past_vote_2019	smallV~7	smallP~7	tacti~18
C	3.657383	3.115714	.0431161
L	3.632671	2.754398	.2572546
LD	3.769716	2.415075	.2236803
SN	3.790021	2.354508	.1400535
PC	3.816327	2.225166	.2035928
UK	3.9	2.3	.1538462
G	3.915567	2.12633	.1650485
O	3.892361	2.52921	.0847458
Brx	3.883959	2.760067	.0570236
i	3.770701	2.385093	.15625
Total	3.688704	2.827828	.1392231

Summary statistics: mean
by categories of: partyIdW19 (Party identification)

partyIdW19	smallV~7	smallP~7	tacti~18
C	3.659225	3.15749	.0562244
L	3.652532	2.820011	.1940667
LD	3.817947	2.3659	.2712982
SN	3.882653	2.333893	.1130186
PC	3.728395	1.939759	.2268041
UK	3.961905	2.881818	.0275862
G	3.727273	2.237027	.3202934
10	3.707897	2.64492	.0936556
Brx	3.851133	2.786174	.0844875
Total	3.696161	2.822379	.1297346

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

smallVote~17 partyIdW19	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
L vs C	-.0066934	.0171385	-0.39	1.000
LD vs C	.1587219	.0267985	5.92	0.000
SN vs C	.2234279	.0409608	5.45	0.000
PC vs C	.0691699	.1065811	0.65	1.000
UK vs C	.3026796	.0937711	3.23	0.237
G vs C	.0680476	.0377216	1.80	0.917
10 vs C	.0486719	.0181496	2.68	0.516
Brx vs C	.1919076	.0400337	4.79	0.003
LD vs L	.1654153	.0273842	6.04	0.000
SN vs L	.2301213	.0413464	5.57	0.000
PC vs L	.0758633	.1067299	0.71	1.000
UK vs L	.309373	.0939402	3.29	0.211
G vs L	.074741	.0381399	1.96	0.871
10 vs L	.0553653	.0190038	2.91	0.387
Brx vs L	.1986009	.0404281	4.91	0.002
SN vs LD	.064706	.0461947	1.40	0.982
PC vs LD	-.089552	.1087001	-0.82	1.000
UK vs LD	.1439577	.0961727	1.50	0.973
G vs LD	-.0906743	.0433484	-2.09	0.822
10 vs LD	-.11005	.028028	-3.93	0.052
Brx vs LD	.0331856	.0453747	0.73	1.000
PC vs SN	-.154258	.113028	-1.36	0.985
UK vs SN	.0792517	.1010387	0.78	1.000
G vs SN	-.1553803	.0532795	-2.92	0.386
10 vs SN	-.174756	.0417756	-4.18	0.025
Brx vs SN	-.0315204	.0549408	-0.57	1.000
UK vs PC	.2335097	.1410339	1.66	0.950
G vs PC	-.0011223	.1118949	-0.01	1.000

smallVote~17	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
10 vs PC	-.020498	.1068969	-0.19	1.000
Brx vs PC	.1227376	.1126954	1.09	0.997
G vs UK	-.234632	.0997694	-2.35	0.700
10 vs UK	-.2540077	.0941299	-2.70	0.507
Brx vs UK	-.1107721	.1006664	-1.10	0.997
10 vs G	-.0193757	.0386048	-0.50	1.000
Brx vs G	.12386	.0525702	2.36	0.697
Brx vs 10	.1432357	.040867	3.50	0.139

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

smallPart~17	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
partyIdW19				
L vs C	-.3374797	.0190653	-17.70	0.000
LD vs C	-.79159	.0297678	-26.59	0.000
SN vs C	-.8235978	.0454482	-18.12	0.000
PC vs C	-1.217731	.1176187	-10.35	0.000
UK vs C	-.2756722	.1023628	-2.69	0.510
G vs C	-.9204637	.0418699	-21.98	0.000
10 vs C	-.5125706	.0201046	-25.50	0.000
Brx vs C	-.3713168	.0445639	-8.33	0.000
LD vs L	-.4541103	.0304419	-14.92	0.000
SN vs L	-.4861181	.0458925	-10.59	0.000
PC vs L	-.8802516	.1177911	-7.47	0.000
UK vs L	.0618075	.1025608	0.60	1.000
G vs L	-.582984	.0423517	-13.77	0.000
10 vs L	-.1750909	.0210898	-8.30	0.000
Brx vs L	-.033837	.045017	-0.75	1.000
SN vs LD	-.0320078	.0512714	-0.62	1.000

smallPart~17	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
PC vs LD	-.4261413	.1199891	-3.55	0.126
UK vs LD	.5159178	.1050779	4.91	0.002
G vs LD	-.1288737	.048128	-2.68	0.518
10 vs LD	.2790194	.0311033	8.97	0.000
Brx vs LD	.4202733	.0504893	8.32	0.000
PC vs SN	-.3941336	.1248071	-3.16	0.267
UK vs SN	.5479256	.1105476	4.96	0.002
G vs SN	-.096866	.0591246	-1.64	0.953
10 vs SN	.3110272	.0463339	6.71	0.000
Brx vs SN	.452281	.0610621	7.41	0.000
UK vs PC	.9420591	.1548851	6.08	0.000
G vs PC	.2972676	.123549	2.41	0.671
10 vs PC	.7051607	.1179638	5.98	0.000
Brx vs PC	.8464146	.1244878	6.80	0.000
G vs UK	-.6447915	.1091253	-5.91	0.000
10 vs UK	-.2368984	.1027591	-2.31	0.723
Brx vs UK	-.0956445	.110187	-0.87	0.999
10 vs G	.4078931	.0428297	9.52	0.000
Brx vs G	.549147	.0584477	9.40	0.000
Brx vs 10	.1412538	.0454669	3.11	0.290

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

tacticalV~18	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	.1378423	.0054172	25.45	0.000
LD vs C	.2150738	.0081844	26.28	0.000
SN vs C	.0567942	.0128674	4.41	0.013
PC vs C	.1705797	.0333672	5.11	0.001

tacticalV~18	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
UK vs C	-.0286382	.027369	-1.05	0.998
G vs C	.264069	.011973	22.06	0.000
10 vs C	.0374312	.0057453	6.52	0.000
Brx vs C	.0282631	.012677	2.23	0.761
LD vs L	.0772314	.008404	9.19	0.000
SN vs L	-.0810482	.0130082	-6.23	0.000
PC vs L	.0327374	.0334217	0.98	0.998
UK vs L	-.1664805	.0274354	-6.07	0.000
G vs L	.1262266	.0121242	10.41	0.000
10 vs L	-.1004112	.006054	-16.59	0.000
Brx vs L	-.1095792	.0128198	-8.55	0.000
SN vs LD	-.1582796	.0143823	-11.01	0.000
PC vs LD	-.0444941	.0339801	-1.31	0.989
UK vs LD	-.243712	.028113	-8.67	0.000
G vs LD	.0489952	.013588	3.61	0.112
10 vs LD	-.1776426	.0086191	-20.61	0.000
Brx vs LD	-.1868106	.0142122	-13.14	0.000
PC vs SN	.1137855	.0354011	3.21	0.243
UK vs SN	-.0854324	.0298149	-2.87	0.413
G vs SN	.2072748	.0168291	12.32	0.000
10 vs SN	-.019363	.0131482	-1.47	0.975
Brx vs SN	-.0285311	.017337	-1.65	0.951
UK vs PC	-.1992179	.042857	-4.65	0.006
G vs PC	.0934893	.0350859	2.66	0.526
10 vs PC	-.1331485	.0334765	-3.98	0.045
Brx vs PC	-.1423166	.0353323	-4.03	0.039
G vs UK	.2927072	.0294399	9.94	0.000
10 vs UK	.0660694	.0275021	2.40	0.673
Brx vs UK	.0569013	.0297332	1.91	0.886
10 vs G	-.2266378	.0122743	-18.46	0.000
Brx vs G	-.2358059	.016684	-14.13	0.000
Brx vs 10	-.0091681	.0129619	-0.71	1.000

政党アイデンティフィケーションと実際の投票との関係に関わる事象とし

て、戦術的投票（あるいは戦術的投票）について検討する。中小政党に投票することに対する見解を尋ねた質問項目 smallPartyWastedVote（小政党への投票は1 全然無駄ではない～5 全く無駄だ）および smallVoterPref（勝てなくても好みの政党に投票1 すべきではまったくない～5 すべき）につき、政党支持・投票政党ごとの平均値の多重比較（Scheffé）を行った。

政党アイデンティフィケーションに関しては、保守党支持者と UKIP 以外の政党の支持者との間に有意な差が認められる。前者の支持者のほうが小政党に投票することを無駄と考えがちである。細かくみれば、プライド・カムリや SNP, Green 支持者より Brexit 支持者のほうが差は有意であってもその絶対値が小さい。Brexit 支持者が保守党に投票しているという前掲のスパインプロットと整合的であるといえよう。

. tabchi p_past_vote_2019 partyIdW19 if partyWin2017W18 = =1 & partyIdW19! =5 & partyIdW19! =6, adj

observed **frequency**
expected **frequency**
adjusted residual

2019 GE vote choice	Party identification						
	C	L	LD	SN	G	10	Brx
C	1176	93	27	0	5	246	75
	737.273	364.399	140.110	23.163	45.762	262.141	49.152
	33.169	-24.480	-15.157	-7.350	-9.267	-1.651	5.677
L	23	430	59	0	35	100	2
	295.000	145.805	56.061	9.268	18.310	104.889	19.667
	-24.374	30.383	0.467	-3.486	4.497	-0.593	-4.598
LD	81	92	144	0	13	70	0
	181.818	89.864	34.552	5.712	11.285	64.646	12.121
	-10.912	0.276	20.997	-2.595	0.558	0.784	-3.811
SN	1	4	1	41	5	6	0
	26.364	13.030	5.010	0.828	1.636	9.374	1.758
	-6.757	-2.870	-1.894	44.914	2.695	-1.216	-1.360
UK	1	1	0	0	0	0	1
	1.364	0.674	0.259	0.043	0.085	0.485	0.091

2019 GE vote choice	Party identification						
	C	L	LD	SN	G	10	Brx
G	-0.422	0.451	-0.533	-0.209	-0.295	-0.761	3.063
	12	17	9	0	21	17	1
	35.000	17.299	6.651	1.100	2.172	12.444	2.333
	-5.336	-0.083	0.966	-1.071	13.135	1.430	-0.899
O	5	2	1	0	0	15	3
	11.818	5.841	2.246	0.371	0.734	4.202	0.788
	-2.698	-1.813	-0.874	-0.617	-0.873	5.779	2.542
Brx	2	2	1	0	0	2	4
	5.000	2.471	0.950	0.157	0.310	1.778	0.333
	-1.820	-0.341	0.054	-0.400	-0.566	0.182	6.462
i	4	4	6	0	2	8	1
	11.364	5.617	2.160	0.357	0.705	4.040	0.758
	-2.971	-0.778	2.746	-0.604	1.571	2.161	0.284

29 cells with expected frequency < 5

17 cells with expected frequency < 1

Pearson chi2(48) = 4.2e+03 Pr=0.000
likelihood-ratio chi2(48) = 2.4e+03 Pr=0.000

実際、2017年に保守党が勝った選挙区のサンプルに限定すると、Brexit 票はほとんどなくなるのである。そしてその行き先は保守党にしかなかった。

3. 政党の政策に関する見解

政党間の違いはどのように認識されているだろうか。以下さまざまな変数について検討していく。

セキュリティと市民的自由の相剋

テロとの闘いのなかで、市民的自由やプライバシーをどれだけ尊重するか（1 テロとの闘い～10市民的自由の保護）という問いについて、回答者が

考える政党ごとのポジションを尋ねている。11点スケールの項目がある (natSecurityGrid (W13))。対応があって通常の多重比較が使えないので、ひとつひとつ差をとってその平均をとることにする。計算が多くなるので政党数を限定した。保守党・労働党・自由民主党・UKIP (2017年ごろの Wave であるため) の間の平均値は、UKIP を一番セキュリティ優先として、そこから保守党 .7, 保守党から労働党まで3.34, 保守党から自由民主党まで3.6 となっている。

Mean estimation Number of obs = 23,023

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
natSConLab	-3.342875	.022994	-3.387944	-3.297805

Mean estimation Number of obs = 20,827

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
natSConLD	-3.599126	.0238759	-3.645925	-3.552328

Mean estimation Number of obs = 20,484

	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
natSConUKIP	.7012302	.0169602	.6679869	.7344735

. **tabstat** natSConLD natSConLab natSConUKIP natSLabUKIP, **s(mean)**

stats	natSCo~D	natSCo~b	natSCo~P	natSLa~P
mean	-3.599126	-3.342875	.7012302	4.090228

通商のグローバリズムへの評価

次に、グローバルな通商関係の全般的影響に対する評価を求めた5点尺度の項目 globalTrade (1Maily Bad~5Mainly Good) に関して、政党支持ごとの平均値と、その多重比較 (Scheffé) を行った。

. **mean** globalTradeW20, **over**(partyIdW19)

Mean estimation Number of obs = 3,610

Over	Mean	Std. Err.	[95% Conf. Interval]	
globalTradeW20				
C	4.010566	.0263911	3.958823	4.062309
L	3.899669	.0346723	3.83169	3.967648
LD	4.086331	.0580984	3.972422	4.20024
SN	3.895833	.105214	3.689548	4.102118
PC	4.052632	.2226066	3.616184	4.489079
UK	3.608696	.233034	3.151804	4.065587
G	3.858407	.0980751	3.666119	4.050695
_subpop_8	3.811989	.0368364	3.739767	3.884211
Brx	3.791304	.0984205	3.598339	3.98427

. pwmean globalTradeW20 , over(partyIdW19) mcompare(scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons	
partyIdW19	36	

globalTra~20	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	-.1108968	.0430528	-2.58	0.577
LD vs C	.0757649	.0659026	1.15	0.995
SN vs C	-.1147327	.1055893	-1.09	0.997
PC vs C	.0420655	.2308241	0.18	1.000
UK vs C	-.4018704	.2101064	-1.91	0.886
G vs C	-.152159	.0979036	-1.55	0.966
10 vs C	-.1985769	.0459662	-4.32	0.017
Brx vs C	-.2192617	.097116	-2.26	0.747
LD vs L	.1866617	.0684856	2.73	0.491
SN vs L	-.0038359	.1072204	-0.04	1.000

globalTra~20	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
PC vs L	.1529623	.2315748	0.66	1.000
UK vs L	-.2909736	.2109309	-1.38	0.984
G vs L	-.0412622	.0996606	-0.41	1.000
10 vs L	-.0876801	.0495985	-1.77	0.926
Brx vs L	-.1083649	.098887	-1.10	0.997
SN vs LD	-.1904976	.1182617	-1.61	0.957
PC vs LD	-.0336994	.2368892	-0.14	1.000
UK vs LD	-.4776353	.216752	-2.20	0.773
G vs LD	-.2279239	.1114533	-2.05	0.840
10 vs LD	-.2743418	.0703536	-3.90	0.056
Brx vs LD	-.2950266	.1107621	-2.66	0.527
PC vs SN	.1567982	.2508434	0.63	1.000
UK vs SN	-.2871377	.2319211	-1.24	0.992
G vs SN	-.0374263	.1386643	-0.27	1.000
10 vs SN	-.0838442	.1084231	-0.77	1.000
Brx vs SN	-.104529	.1381093	-0.76	1.000
UK vs PC	-.4439359	.3097064	-1.43	0.979
G vs PC	-.1942245	.2477064	-0.78	1.000
10 vs PC	-.2406425	.2321341	-1.04	0.998
Brx vs PC	-.2613272	.2473961	-1.06	0.997
G vs UK	.2497114	.2285244	1.09	0.997
10 vs UK	.2032934	.2115447	0.96	0.999
Brx vs UK	.1826087	.2281881	0.80	1.000
10 vs G	-.046418	.1009533	-0.46	1.000
Brx vs G	-.0671027	.1323261	-0.51	1.000
Brx vs 10	-.0206848	.1001897	-0.21	1.000

有意差のあるカテゴリは、政党支持なし vs 保守党支持者のみであり、最も平均値の低い政党支持なし層でもグローバルな通商関係の発展自体にはポジティブな評価をしていることがわかる。統計的に有意な差はその支持なし層と保守党（プライド・カムリ支持者を除けばもっとも高い）および、有意水準を10%水準まで緩めたとしても、支持なし層と自由民主党支持者の間にし

807 2019年イギリス総選挙：British Election Study Internet Panel データの予備的分析

かない。通商だけとりあげるとグローバル化への支持は高いのである。

緊縮（福祉削減）と政党

```
. tabstat howToReduceDeficitW17 cutsTooFarNHSW18 cutsTooFarNationalW18, stat  
(me > an) by (p_past_vote_2019)
```

Summary statistics: mean
by categories of: p_past_vote_2019 (2019 GE vote choice)

p_past_vote_2019	howTo～17	cut～SW18	c～nalW18
C	2.97007	3.874193	3.528438
L	2.078029	4.694595	4.520908
LD	2.446841	4.451734	4.211374
SN	2.14486	4.608955	4.477204
PC	2.28125	4.645161	4.35
UK	2.666667	4.333333	3.833333
G	2.469512	4.534694	4.248945
O	2.597015	4.258621	4.017241
Brx	3.084746	4.119266	3.859813
i	3.15625	4.435484	4.111111
Total	2.585045	4.262949	3.990779

```
. tabstat howToReduceDeficitW17 cutsTooFarNHSW20 cutsTooFarNationalW18, stat  
(me > an) by (partyIdW19)
```

Summary statistics: mean
by categories of: partyIdW19 (Party identification)

partyIdW19	howTo～17	cut～SW20	c～nalW18
C	3.007975	3.736832	3.442271
L	2.145161	4.558008	4.458969
LD	2.334254	4.403732	4.215267
SN	2.328	4.497368	4.399083
PC	2.6	4.375	4.533333
UK	3.222222	3.782051	3.822222
G	2.126582	4.659048	4.494297
10	2.724972	4.234289	4.008838

partyIdW19	howTo~17	cut~SW20	c~nalW18
Brx	3	3.831111	3.757009
Total	2.622345	4.17569	3.978287

. pwmean howToReduceDeficitW17, over(partyIdW19) mcompare(scheffe) pv
Pairwise comparisons **of means** with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

howToRedu~17	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	-.8628142	.0403065	-21.41	0.000
LD vs C	-.6737213	.0612407	-11.00	0.000
SN vs C	-.6799755	.0978212	-6.95	0.000
PC vs C	-.4079755	.334327	-1.22	0.993
UK vs C	.2142468	.2497996	0.86	0.999
G vs C	-.8813932	.0878223	-10.04	0.000
10 vs C	-.283003	.0436314	-6.49	0.000
Brx vs C	-.0079755	.0960581	-0.08	1.000
LD vs L	.1890929	.0633398	2.99	0.350
SN vs L	.1828387	.0991489	1.84	0.907
PC vs L	.4548387	.3347178	1.36	0.985
UK vs L	1.077061	.2503225	4.30	0.018
G vs L	-.018579	.0892987	-0.21	1.000
10 vs L	.5798112	.0465318	12.46	0.000
Brx vs L	.8548387	.0974098	8.78	0.000
SN vs LD	-.0062541	.1093449	-0.06	1.000
PC vs LD	.2657459	.3378784	0.79	1.000
UK vs LD	.8879681	.2545333	3.49	0.144
G vs LD	-.2076719	.1004991	-2.07	0.832
10 vs LD	.3907184	.0655058	5.96	0.000
Brx vs LD	.6657459	.1077705	6.18	0.000

howToRedu~17	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
PC vs SN	.272	.3463819	0.79	1.000
UK vs SN	.8942222	.2657174	3.37	0.184
G vs SN	-.2014177	.1261691	-1.60	0.959
10 vs SN	.3969725	.1005464	3.95	0.049
Brx vs SN	.672	.1320343	5.09	0.001
UK vs PC	.6222222	.4157058	1.50	0.973
G vs PC	-.4734177	.343692	-1.38	0.984
10 vs PC	.1249725	.3351345	0.37	1.000
Brx vs PC	.4	.3458881	1.16	0.995
G vs UK	-1.09564	.2622013	-4.18	0.026
10 vs UK	-.4972497	.2508794	-1.98	0.863
Brx vs UK	-.2222222	.2650734	-0.84	1.000
10 vs G	.5983902	.0908479	6.59	0.000
Brx vs G	.8734177	.1248071	7.00	0.000
Brx vs 10	.2750275	.098832	2.78	0.459

. pwmean cutsTooFarNHSW18, over(partyIdW19) mcompare(scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

cutsToo~SW18	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	.8286157	.0238109	34.80	0.000
LD vs C	.6521394	.0356695	18.28	0.000
SN vs C	.7317626	.0570445	12.83	0.000
PC vs C	.800231	.1498002	5.34	0.000
UK vs C	.2911401	.1240226	2.35	0.702
G vs C	.9203803	.0523405	17.58	0.000

cutsToo～SW18	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
10 vs C	.5256482	.0261424	20.11	0.000
Brx vs C	.2565691	.0581442	4.41	0.013
LD vs L	-.1764763	.0364246	-4.84	0.003
SN vs L	-.0968532	.0575197	-1.68	0.944
PC vs L	-.0283847	.1499817	-0.19	1.000
UK vs L	-.5374756	.1242418	-4.33	0.017
G vs L	.0917646	.0528579	1.74	0.933
10 vs L	-.3029675	.0271635	-11.15	0.000
Brx vs L	-.5720467	.0586104	-9.76	0.000
SN vs LD	.0796231	.0633551	1.26	0.991
PC vs LD	.1480916	.1523151	0.97	0.999
UK vs LD	-.3609993	.1270488	-2.84	0.426
G vs LD	.2682409	.059155	4.53	0.008
10 vs LD	-.1264912	.0379896	-3.33	0.197
Brx vs LD	-.3955704	.064347	-6.15	0.000
PC vs SN	.0684685	.1586872	0.43	1.000
UK vs SN	-.4406224	.1346222	-3.27	0.219
G vs SN	.1886177	.0740343	2.55	0.592
10 vs SN	-.2061143	.0585233	-3.52	0.134
Brx vs SN	-.4751935	.0782451	-6.07	0.000
UK vs PC	-.5090909	.1931558	-2.64	0.542
G vs PC	.1201493	.1570576	0.77	1.000
10 vs PC	-.2745828	.1503695	-1.83	0.912
Brx vs PC	-.543662	.1590858	-3.42	0.166
G vs UK	.6292402	.1326974	4.74	0.004
10 vs UK	.2345081	.1247096	1.88	0.896
Brx vs UK	-.0345711	.1350919	-0.26	1.000
10 vs G	-.3947321	.0539483	-7.32	0.000
Brx vs G	-.6638112	.0748849	-8.86	0.000
Brx vs 10	-.2690792	.0595957	-4.52	0.009

. pwmean cutsTooFarNationalW18, over(partyIdW19) mcompare(scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons			
partyIdW19	36			
cutsT~nalW18	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	1.016699	.024498	41.50	0.000
LD vs C	.7729964	.0364973	21.18	0.000
SN vs C	.9568118	.0588735	16.25	0.000
PC vs C	1.091063	.1533322	7.12	0.000
UK vs C	.3799514	.1255508	3.03	0.329
G vs C	1.052026	.0540259	19.47	0.000
10 vs C	.5665667	.0272305	20.81	0.000
Brx vs C	.3147385	.0593791	5.30	0.000
LD vs L	-.2437023	.0373799	-6.52	0.000
SN vs L	-.0598869	.0594247	-1.01	0.998
PC vs L	.0743639	.1535447	0.48	1.000
UK vs L	-.6367472	.1258102	-5.06	0.001
G vs L	.0353271	.0546261	0.65	1.000
10 vs L	-.4501319	.0284027	-15.85	0.000
Brx vs L	-.7019601	.0599257	-11.71	0.000
SN vs LD	.1838154	.0652931	2.82	0.441
PC vs LD	.3180662	.1559098	2.04	0.842
UK vs LD	-.393045	.1286861	-3.05	0.315
G vs LD	.2790294	.0609582	4.58	0.007
10 vs LD	-.2064297	.0392251	-5.26	0.001
Brx vs LD	-.4582578	.0657494	-6.97	0.000
PC vs SN	.1342508	.1626097	0.83	1.000
UK vs SN	-.5768603	.1367265	-4.22	0.023
G vs SN	.095214	.0764849	1.24	0.992
10 vs SN	-.390245	.0606024	-6.44	0.000
Brx vs SN	-.6420732	.0803556	-7.99	0.000
UK vs PC	-.7111111	.1968218	-3.61	0.110

cutsT~nalW18	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
G vs PC	-.0390368	.160918	-0.24	1.000
10 vs PC	-.5244958	.1540043	-3.41	0.170
Brx vs PC	-.776324	.1627934	-4.77	0.004
G vs UK	.6720744	.1347102	4.99	0.002
10 vs UK	.1866153	.1263707	1.48	0.975
Brx vs UK	-.0652129	.136945	-0.48	1.000
10 vs G	-.4854591	.0559049	-8.68	0.000
Brx vs G	-.7372872	.0768748	-9.59	0.000
Brx vs 10	-.2518282	.0610937	-4.12	0.030

緊縮 (austerity) に関わる項目 howToReduceDeficitW17 (向こう 3 年で赤字を減らす方法は 1 増税しかない～5 支出を減らすしかない), および cutsTooFarNHS (NHS 支出は削減 1 十分と言えるほど減らせてない～5 しすぎだ), cutsTooFarNational (国家支出一般は削減 1 十分と言えるほど減らせてない～5 しすぎだ), の平均を政党アイデンティフィケーション, 19 年総選挙での投票政党ごとに計算した。また, それらを多重比較 (Scheffé) した。

赤字削減方法について, 政党支持ごとの平均に有意な差がみられないのは保守党 vs UKIP, Brexit vs 保守党, 労働党 vs 自由民主党, SNP vs 労働党, プライド・カムリ vs 労働党, 自由民主 vs 緑の党の組み合わせであった (うち緑の党や UKIP についてはサンプルが少ないことに理由があるように思われる)。NHS 予算削減に関しては, 保守党支持者であっても削減はもう十分と考えているようである。保守党と UKIP 以外の野党・支持なし層のあいだに有意な差がみられる。そのほかは, 自由民主党と労働党, 支持なし層と労働党, Brexit 対労働党との間に有意差がみられる。

税と財政支出

上に関連して、課税と財政支出とのトレードオフに関して各党支持者の政策志向と二大政党のそれについての推測に関する項目をみた。後者については多重比較（Scheffé）を行っている。

```
. tabstat taxSpendSelfW18, stat (mean) by (p_past_vote_2019)
```

Summary for variables: taxSpendSelfW18
by categories of: p_past_vote_2019 (2019 GE vote choice)

p_past_vote_2019	mean
C	5.837513
L	7.838926
LD	6.920949
SN	7.652174
PC	8.071429
UK	.
G	7.253968
O	6.615385
Brx	6.532258
i	7
Total	6.704385

```
. tabstat taxSpendSelfW18, stat (mean) by (partyIdW19)
```

Summary for variables: taxSpendSelfW18
by categories of: partyIdW19 (Party identification)

partyIdW19	mean
C	5.715318
L	7.645472
LD	7
SN	7.412698
PC	8.428571
UK	5.777778
G	8.528302
10	6.761518

五
一
七

partyIdW19	mean
Brx	5.7
Total	6.686489

. pwmean taxSpendSelfW18 , over(partyIdW19) mcompare (scheffe) pv

Pairwise comparisons **of means** with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

taxSpendS~18	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	1.930154	.1263598	15.28	0.000
LD vs C	1.284682	.1933732	6.64	0.000
SN vs C	1.69738	.2863675	5.93	0.000
PC vs C	2.713254	.826628	3.28	0.216
UK vs C	.0624599	.7300595	0.09	1.000
G vs C	2.812984	.3101421	9.07	0.000
10 vs C	1.0462	.1402701	7.46	0.000
Brx vs C	-.0153179	.3186673	-0.05	1.000
LD vs L	-.6454721	.1991838	-3.24	0.232
SN vs L	-.2327736	.2903228	-0.80	1.000
PC vs L	.7830994	.8280065	0.95	0.999
UK vs L	-1.867694	.7316201	-2.55	0.590
G vs L	.8828298	.3137979	2.81	0.442
10 vs L	-.8839544	.1481778	-5.97	0.000
Brx vs L	-1.945472	.3222263	-6.04	0.000
SN vs LD	.4126984	.3251365	1.27	0.991
PC vs LD	1.428571	.8408455	1.70	0.941
UK vs LD	-1.222222	.7461195	-1.64	0.953
G vs LD	1.528302	.3462593	4.41	0.013
10 vs LD	-.2384824	.2082861	-1.14	0.995
Brx vs LD	-1.3	.3539156	-3.67	0.097

taxSpendS~18	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
PC vs SN	1.015873	.8669685	1.17	0.995
UK vs SN	-1.634921	.7754402	-2.11	0.815
G vs SN	1.115603	.4055967	2.75	0.477
10 vs SN	-.6511808	.2966416	-2.20	0.777
Brx vs SN	-1.712698	.4121521	-4.16	0.028
UK vs PC	-2.650794	1.096638	-2.42	0.665
G vs PC	.0997305	.8751092	0.11	1.000
10 vs PC	-1.667054	.8302431	-2.01	0.854
Brx vs PC	-2.728571	.8781667	-3.11	0.291
G vs UK	2.750524	.7845312	3.51	0.139
10 vs UK	.9837398	.7341504	1.34	0.987
Brx vs UK	-.0777778	.7879403	-0.10	1.000
10 vs G	-1.766784	.3196529	-5.53	0.000
Brx vs G	-2.828302	.4290118	-6.59	0.000
Brx vs 10	-1.061518	.3279309	-3.24	0.234

. pwmean taxSpendSelfW18, over (partyIdW19) mcompare (scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

taxSpendS~18	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
partyIdW19				
L vs C	1.930154	.1263598	15.28	0.000
LD vs C	1.284682	.1933732	6.64	0.000
SN vs C	1.69738	.2863675	5.93	0.000
PC vs C	2.713254	.826628	3.28	0.216
UK vs C	.0624599	.7300595	0.09	1.000
G vs C	2.812984	.3101421	9.07	0.000
10 vs C	1.0462	.1402701	7.46	0.000

五
一
五

taxSpendS~18	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
Brx vs C	-.0153179	.3186673	-0.05	1.000
LD vs L	-.6454721	.1991838	-3.24	0.232
SN vs L	-.2327736	.2903228	-0.80	1.000
PC vs L	.7830994	.8280065	0.95	0.999
UK vs L	-1.867694	.7316201	-2.55	0.590
G vs L	.8828298	.3137979	2.81	0.442
10 vs L	-.8839544	.1481778	-5.97	0.000
Brx vs L	-1.945472	.3222263	-6.04	0.000
SN vs LD	.4126984	.3251365	1.27	0.991
PC vs LD	1.428571	.8408455	1.70	0.941
UK vs LD	-1.222222	.7461195	-1.64	0.953
G vs LD	1.528302	.3462593	4.41	0.013
10 vs LD	-.2384824	.2082861	-1.14	0.995
Brx vs LD	-1.3	.3539156	-3.67	0.097
PC vs SN	1.015873	.8669685	1.17	0.995
UK vs SN	-1.634921	.7754402	-2.11	0.815
G vs SN	1.115603	.4055967	2.75	0.477
10 vs SN	-.6511808	.2966416	-2.20	0.777
Brx vs SN	-1.712698	.4121521	-4.16	0.028
UK vs PC	-2.650794	1.096638	-2.42	0.665
G vs PC	.0997305	.8751092	0.11	1.000
10 vs PC	-1.667054	.8302431	-2.01	0.854
Brx vs PC	-2.728571	.8781667	-3.11	0.291
G vs UK	2.750524	.7845312	3.51	0.139
10 vs UK	.9837398	.7341504	1.34	0.987
Brx vs UK	-.0777778	.7879403	-0.10	1.000
10 vs G	-1.766784	.3196529	-5.53	0.000
Brx vs G	-2.828302	.4290118	-6.59	0.000
Brx vs 10	-1.061518	.3279309	-3.24	0.234

ナショナリズムに関する政党と支持者の志向

- 移民関係変数の因子分析

(obs=14,806)

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	14,806
Method: principal factors	Retained factors	=	1
Rotation: (unrotated)	Number of params	=	4

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	2.83637	2.87462	1.0882	1.0882
Factor2	-0.03825	0.04553	-0.0147	1.0735
Factor3	-0.08378	0.02408	-0.0321	1.0414
Factor4	-0.10786	.	-0.0414	1.0000

LR **test**: **independent** vs. saturated: $\chi^2(6) = 4.1e+04$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$

Factor loadings (pattern matrix) and **unique** variances

Variable	Factor1	Uniqueness
immigEconW20	0.8513	0.2753
immigCult~17	0.8466	0.2833
immigSelfW17	0.8370	0.2994
immigrant~20	-0.8333	0.3056

(option regression assumed; regression scoring)

Scoring coefficients (method=regression)

Variable	Factor1
immigEconW20	0.28145
immigCult~17	0.27197
immigSelfW17	0.25517
immigrant~20	-0.24884

Test **scale=mean** (unstandardized items)
Reversed item: immigrantsWelfareStateW20

Average interitem **covariance**: 2.837246
Number **of items in the scale**: 4
Scale reliability coefficient: 0.8987

stats	imm~fW17	i~ConW17	imm~bW17	imm~DW17
mean	3.815654	2.976735	6.880244	6.873309

stats	imm~PW17	imm~CW17	immigB~7
mean	7.627655	6.184397	1.024487

次に、グローバル化の人的側面に関わる諸項目を検討する。まずは近年欧州の政治に多大な影響を及ぼしている、移民問題に関する項目である。移民に関する意見を尋ねた項目4つを因子分析にかけたところ、1因子構造が明らかとなる（固有値2.83637, 第2因子の固有値 -0.03825）。各項目の寄与率はいずれも絶対値が .83を超えている。この因子を対移民態度とみなすこととする。アルファも .8966と十分である。因子スコアを導出して、政党支持ごとの平均値を多重比較（Scheffé）した。あわせて、回答者本人および、各政党がどれくらい移民を許容していると考えるかという質問項目（0非常に少なく～10もっと沢山の11点スケール）の平均を計算した。

• 民族意識因子分析と因子得点の作成

. **factor** ethno1W10 ethno2W10 ethno3W10 ethno4W10 ethno5W10 ethno6W10, pcf
(**obs**=24,561)

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	24,561
Method: principal factors	Retained factors	=	1
Rotation: (unrotated)	Number of params	=	11

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	2.51965	1.37428	0.4199	0.4199
Factor2	1.14536	0.38189	0.1909	0.6108
Factor3	0.76347	0.12772	0.1272	0.7381
Factor4	0.63576	0.14019	0.1060	0.8440
Factor5	0.49557	0.05538	0.0826	0.9266
Factor6	0.44019	.	0.0734	1.0000

LR **test**: **independent** vs. saturated: $\chi^2(15) = 2.9e+04$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$

Factor loadings (pattern matrix) and **unique** variances

Variable	Factor1	Factor2	Uniqueness
ethno1W10	-0.5698	0.2335	0.6209
ethno2W10	0.7415	0.3118	0.3529
ethno3W10	-0.6814	0.5042	0.2814
ethno4W10	0.5540	0.5558	0.3842
ethno5W10	0.6690	0.4080	0.3859
ethno6W10	-0.6529	0.5138	0.3097

```
. rotate, quartimax
```

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	24,561
Method: principal-component factors	Retained factors	=	2
Rotation: orthogonal quartimax (Kaiser off)	Number of params	=	11

Factor	Variance	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	1.84968	0.03435	0.3083	0.3083
Factor2	1.81533	.	0.3026	0.6108

LR test: independent vs. saturated: $\chi^2(15) = 2.9e+04$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$

Rotated **factor** loadings (pattern **matrix**) and **unique** variances

Variable	Factor1	Factor2	Uniqueness
ethno1W10	-0.2448	0.5650	0.6209
ethno2W10	0.7486	-0.2945	0.3529
ethno3W10	-0.1357	0.8368	0.2814
ethno4W10	0.7847	0.0111	0.3842
ethno5W10	0.7638	-0.1750	0.3859
ethno6W10	-0.1087	0.8237	0.3097

Factor rotation matrix

	Factor1	Factor2
Factor1	0.7159	-0.6982
Factor2	0.6982	0.7159

Scoring coefficients (method=regression; based on quartimax rotated factors)

Variable	Factor1	Factor2
ethno1W10	-0.01954	0.30383

Variable	Factor1	Factor2
ethno2W10	0.40076	-0.01060
ethno3W10	0.11379	0.50399
ethno4W10	0.49622	0.19387
ethno5W10	0.43881	0.06963
ethno6W10	0.12769	0.50206

民族意識に関する質問項目 ethno1から ethno6までを因子分析（主因子法）にかけたところ、固有値から2因子構造とみられたが、2因子にわたって寄与の大きい項目がみられたので、斜行回転（quartimax）を施した。2つの因子それぞれに3項目ずつ寄与率が高いことが明らかなので、2因子構造とみなす。それぞれの因子につき因子得点を計算した（ethno_1, ethno_2）。

. **tabstat** ethno_1 ethno_2, stat (**mean**) by (partyIdW19)

Summary **statistics: mean**
by categories **of:** partyIdW19 (Party identification)

partyIdW19	ethno_1	ethno_2
C	.4673613	-.3504808
L	-.1592714	.1417692
LD	-.1900296	.1185861
SN	-.7862908	.4591937
PC	-.5345482	.0356819
UK	.5241993	.0476862
G	-.4933662	.4281386
10	-.0055811	.0299518
Brx	.4671287	.0700012
Total	.0847539	-.0433031

. **pwmean** ethno_1, **over**(partyIdW19) **mcompare**(scheffe) **pv**

Pairwise comparisons **of means** with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons			
partyIdW19	36			
ethno_1	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
partyIdW19				
L vs C	-.6266327	.0223447	-28.04	0.000
LD vs C	-.657391	.0341531	-19.25	0.000
SN vs C	-1.253652	.0503215	-24.91	0.000
PC vs C	-1.00191	.1352264	-7.41	0.000
UK vs C	.0568379	.1206075	0.47	1.000
G vs C	-.9607275	.0519534	-18.49	0.000
10 vs C	-.4729424	.0241755	-19.56	0.000
Brx vs C	-.0002326	.051669	-0.00	1.000
LD vs L	-.0307582	.0353073	-0.87	0.999
SN vs L	-.6270194	.0511119	-12.27	0.000
PC vs L	-.3752768	.1355225	-2.77	0.467
UK vs L	.6834707	.1209395	5.65	0.000
G vs L	-.3340948	.0527193	-6.34	0.000
10 vs L	.1536903	.0257804	5.96	0.000
Brx vs L	.6264001	.0524391	11.95	0.000
SN vs LD	-.5962611	.0572675	-10.41	0.000
PC vs LD	-.3445186	.1379619	-2.50	0.621
UK vs LD	.7142289	.1236669	5.78	0.000
G vs LD	-.3033366	.0587066	-5.17	0.001
10 vs LD	.1844485	.0364935	5.05	0.001
Brx vs LD	.6571584	.0584552	11.24	0.000
PC vs SN	.2517426	.1428261	1.76	0.927
UK vs SN	1.31049	.129071	10.15	0.000
G vs SN	.2929246	.0693706	4.22	0.023
10 vs SN	.7807096	.0519383	15.03	0.000
Brx vs SN	1.253419	.069158	18.12	0.000
UK vs PC	1.058747	.1800368	5.88	0.000
G vs PC	.041182	.1434092	0.29	1.000

ethno_1	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
10 vs PC	.5289671	.1358363	3.89	0.056
Brx vs PC	1.001677	.1433065	6.99	0.000
G vs UK	-1.017565	.1297159	-7.84	0.000
10 vs UK	-.5297804	.1212911	-4.37	0.015
Brx vs UK	-.0570705	.1296023	-0.44	1.000
10 vs G	.4877851	.0535209	9.11	0.000
Brx vs G	.9604949	.0703543	13.65	0.000
Brx vs 10	.4727099	.053245	8.88	0.000

. pwmean ethno_2, over(partyIdW19) mcompare(scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

ethno_2	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
partyIdW19				
L vs C	.49225	.024239	20.31	0.000
LD vs C	.469067	.0370484	12.66	0.000
SN vs C	.8096745	.0545874	14.83	0.000
PC vs C	.3861627	.1466901	2.63	0.544
UK vs C	.398167	.130832	3.04	0.321
G vs C	.7786194	.0563577	13.82	0.000
10 vs C	.3804326	.026225	14.51	0.000
Brx vs C	.420482	.0560492	7.50	0.000
LD vs L	-.023183	.0383004	-0.61	1.000
SN vs L	.3174245	.0554448	5.73	0.000
PC vs L	-.1060873	.1470113	-0.72	1.000
UK vs L	-.094083	.131192	-0.72	1.000
G vs L	.2863694	.0571885	5.01	0.002
10 vs L	-.1118173	.0279659	-4.00	0.043

ethno_2	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
Brx vs L	-.071768	.0568846	-1.26	0.991
SN vs LD	.3406075	.0621223	5.48	0.000
PC vs LD	-.0829042	.1496575	-0.55	1.000
UK vs LD	-.0709	.1341506	-0.53	1.000
G vs LD	.3095524	.0636834	4.86	0.003
10 vs LD	-.0886343	.0395872	-2.24	0.756
Brx vs LD	-.048585	.0634106	-0.77	1.000
PC vs SN	-.4235118	.1549341	-2.73	0.487
UK vs SN	-.4115075	.1400129	-2.94	0.374
G vs SN	-.0310551	.0752515	-0.41	1.000
10 vs SN	-.4292419	.0563414	-7.62	0.000
Brx vs SN	-.3891925	.0750208	-5.19	0.001
UK vs PC	.0120043	.1952992	0.06	1.000
G vs PC	.3924567	.1555666	2.52	0.607
10 vs PC	-.0057301	.1473518	-0.04	1.000
Brx vs PC	.0343193	.1554552	0.22	1.000
G vs UK	.3804524	.1407125	2.70	0.504
10 vs UK	-.0177343	.1315734	-0.13	1.000
Brx vs UK	.022315	.1405892	0.16	1.000
10 vs G	-.3981867	.0580581	-6.86	0.000
Brx vs G	-.3581374	.0763185	-4.69	0.005
Brx vs 10	.0400494	.0577588	0.69	1.000

これらの因子得点をそれぞれの政党支持者ごとに平均し、相互の差を多重比較（Scheffé）した結果である。

・イギリスへの愛着・6つの質問項目の因子分析と合成変数の検討，多重比較（Scheffé）

	ukA~1W19	ukA~2W19	ukA~3W19
ukAttach1W19	1.0000		
ukAttach2W19	0.2092	1.0000	
ukAttach3W19	0.1187	0.1270	1.0000

	ukA~1W19	ukA~2W19	ukA~3W19
ukAttach4W19	-0.1986	-0.2249	-0.0619
ukAttach5W19	-0.2360	-0.2579	-0.0626
ukAttach6W19	-0.0838	-0.1592	-0.1945
	ukA~4W19	ukA~5W19	ukA~6W19
ukAttach1W19			
ukAttach2W19			
ukAttach3W19			
ukAttach4W19	1.0000		
ukAttach5W19	0.7239	1.0000	
ukAttach6W19	0.4697	0.4491	1.0000

(obs=4,062)

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	4,062
Method: principal factors	Retained factors	=	3
Rotation: (unrotated)	Number of params	=	15

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	1.78818	1.54338	1.1065	1.1065
Factor2	0.24481	0.18459	0.1515	1.2579
Factor3	0.06022	0.17604	0.0373	1.2952
Factor4	-0.11582	0.05429	-0.0717	1.2235
Factor5	-0.17011	0.02104	-0.1053	1.1183
Factor6	0.19115	.	-0.1183	1.0000

LR test: **independent** vs. saturated: $\chi^2(15) = 4949.53$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$ Factor loadings (pattern matrix) and **unique** variances

Variable	Factor1	Factor2	Factor3	Uniqueness
ukAttach1W19	-0.2884	0.2539	0.1142	0.8393
ukAttach2W19	-0.3420	0.2425	0.0688	0.8195
ukAttach3W19	-0.1932	0.2873	-0.1212	0.8654
ukAttach4W19	0.7728	0.1544	-0.0215	0.3785
ukAttach5W19	0.7864	0.1228	-0.0522	0.3638
ukAttach6W19	0.5789	-0.0072	0.1567	0.6402

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	4,062
-------------------------------------	---------------	---	-------

Method: principal factors Retained factors = 3
Rotation: orthogonal quartimax (Kaiser **off**) Number **of** params = 15

Factor	Variance	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	1.74850	1.46960	1.0819	1.0819
Factor2	0.27890	0.21309	0.1726	1.2545
Factor3	0.06581	.	0.0407	1.2952

LR **test**: **independent** vs. saturated: $\chi^2(15) = 4949.53$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$

Rotated **factor** loadings (pattern **matrix**) and **unique** variances

Variable	Factor1	Factor2	Factor3	Uniqueness
ukAttach1W19	-0.2456	0.3093	0.0683	0.8393
ukAttach2W19	-0.2997	0.3002	0.0230	0.8195
ukAttach3W19	-0.1432	0.2942	-0.1659	0.8654
ukAttach4W19	0.7878	0.0271	-0.0147	0.3785
ukAttach5W19	0.7965	-0.0102	-0.0404	0.3638
ukAttach6W19	0.5682	-0.0756	0.1767	0.6402

Factor rotation **matrix**

	Factor1	Factor2	Factor3
Factor1	0.9871	-0.1563	0.0356
Factor2	0.1597	0.9778	-0.1358
Factor3	-0.0136	0.1397	0.9901

Test **scale**=**mean**(unstandardized items)

Reversed items: ukAttach1W19 ukAttach2W19 ukAttach3W19

Average interitem **covariance**: .0541992

Number **of** items in the **scale**: 6

Scale reliability coefficient: 0.6578

(**obs**=4,870)

Factor analysis/**correlation** Number **of obs** = 4,870
Method: principal factors Retained factors = 1
Rotation: (unrotated) Number **of** params = 3

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	1.58859	1.66557	1.1933	1.1933

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor2	-0.07698	0.10332	-0.0578	1.1354
Factor3	-0.18030	.	-0.1354	1.0000

LR test: **independent** vs. saturated: $\chi^2(3) = 4962.48$ Prob> $\chi^2 = 0.0000$

Factor loadings (pattern matrix) and **unique** variances

Variable	Factor1	Uniqueness
ukAttach4W19	0.7961	0.3662
ukAttach5W19	0.7942	0.3693
ukAttach6W19	0.5693	0.6760

Test **scale = mean** (unstandardized items)

Average interitem **covariance**: .1263579
 Number **of** items **in** the **scale**: 3
 Scale reliability coefficient: 0.7928

(100,470 real changes made, 96,543 to missing)

回答者のイギリスへの愛着についてあり・なしの二分法で尋ねた6項目について、相関をとったうえで因子分析を行ったところ、1因子構造ながら、斜行回転を施したあとも3つの項目の寄与率が高くなく、6項目で計算したアルファも.6578とあまり高くないので、寄与率の高い3項目のみを合算してイギリスへの愛着をしめす変数として利用することを考える。この合成変数について政党支持ごとの差を計算し、多重比較 (Scheffé) している。

. pwmean ukattachW19, over(partyIdW19) mcompare (scheffe) pv

Pairwise comparisons **of means** with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

ukattachW19 partyIdW19	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
L vs C	-.6607412	.0414713	-15.93	0.000
LD vs C	-.5738516	.061535	-9.33	0.000
SN vs C	-1.831901	.0921603	-19.88	0.000
PC vs C	-1.692189	.2985682	-5.67	0.000
UK vs C	.0353247	.2157836	0.16	1.000
G vs C	-1.007665	.0898687	-11.21	0.000
10 vs C	-.8306978	.0473783	-17.53	0.000
Brx vs C	-.2423304	.094372	-2.57	0.581
LD vs L	.0868896	.063977	1.36	0.985
SN vs L	-1.17116	.0938085	-12.48	0.000
PC vs L	-1.031447	.2990811	-3.45	0.156
UK vs L	.696066	.2164926	3.22	0.242
G vs L	-.3469235	.091558	-3.79	0.073
10 vs L	-.1699566	.0505095	-3.36	0.184
Brx vs L	.4184108	.0959822	4.36	0.015
SN vs LD	-1.258049	.1042435	-12.07	0.000
PC vs LD	-1.118337	.3025164	-3.70	0.091
UK vs LD	.6091763	.2212142	2.75	0.475
G vs LD	-.4338131	.1022231	-4.24	0.021
10 vs LD	-.2568462	.0679551	-3.78	0.075
Brx vs LD	.3315212	.1062039	3.12	0.284
PC vs SN	.1397125	.3101986	0.45	1.000
UK vs SN	1.867226	.2316089	8.06	0.000
G vs SN	.8242363	.1231119	6.70	0.000
10 vs SN	1.001203	.0965654	10.37	0.000
Brx vs SN	1.589571	.1264367	12.57	0.000
UK vs PC	1.727513	.366459	4.71	0.005
G vs PC	.6845238	.3095254	2.21	0.769
10 vs PC	.8614907	.2999572	2.87	0.410
Brx vs PC	1.449858	.3108628	4.66	0.005
G vs UK	-1.042989	.2307066	-4.52	0.009

ukattachW19	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
10 vs UK	-.8660225	.2177014	-3.98	0.045
Brx vs UK	-.2776551	.2324979	-1.19	0.994
10 vs G	.1769669	.0943807	1.88	0.898
Brx vs G	.7653343	.1247761	6.13	0.000
Brx vs 10	.5883674	.0986783	5.96	0.000

・ポピュリズム因子得点の算出，多重比較

. **factor** populism1W17 populism2W17 populism4W17 populism5W17 populism6W17
(**obs**=6,454)

Factor analysis/ correlation	Number of obs	=	6,454
Method: principal factors	Retained factors	=	2
Rotation: (unrotated)	Number of params	=	9

Factor	Eigenvalue	Difference	Proportion	Cumulative
Factor1	2.26503	2.23104	1.1794	1.1794
Factor2	0.03399	0.12390	0.0177	1.1971
Factor3	-0.08991	0.00230	-0.0468	1.1503
Factor4	-0.09221	0.10415	-0.0480	1.1022
Factor5	-0.19636	.	-0.1022	1.0000

LR **test**: **independent** vs. saturated: $\chi^2(10) = 1.0e+04$ Prob> $\chi^2=0.0000$

Factor loadings (pattern matrix) and **unique** variances

Variable	Factor1	Factor2	Uniqueness
populism1W17	0.6429	0.0931	0.5780
populism2W17	0.7492	-0.0777	0.4326
populism4W17	0.6835	-0.1074	0.5213
populism5W17	0.6414	0.0832	0.5816
populism6W17	0.6416	0.0287	0.5875

. **alpha** populism1W17 populism2W17 populism4W17 populism5W17 populism6W17

Test **scale = mean**(unstandardized items)

Average interitem **covariance**: .5033786

Number of items in the scale: 5
Scale reliability coefficient: 0.8131

. predict fpopulism
(option regression assumed; regression scoring)

Scoring coefficients (method = regression)

Variable	Factor1	Factor2
populism1W17	0.20691	0.14348
populism2W17	0.31064	-0.13434
populism4W17	0.23449	-0.16168
populism5W17	0.20918	0.12575
populism6W17	0.20182	0.04894

. pwmean fpopulism, over(partyIdW19) mcompare (scheffe) pv

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons			
partyIdW19	36			

fpopulism	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
partyIdW19				
L vs C	-.3633718	.0334887	-10.85	0.000
LD vs C	-.6159013	.0528416	-11.66	0.000
SN vs C	-.2080502	.0830871	-2.50	0.617
PC vs C	-.5230591	.1829462	-2.86	0.417
UK vs C	.5839834	.1545705	3.78	0.075
G vs C	-.5148649	.0747785	-6.89	0.000
10 vs C	-.0161597	.0364253	-0.44	1.000
Brx vs C	.6865356	.0752651	9.12	0.000
LD vs L	-.2525294	.0543308	-4.65	0.006
SN vs L	.1553217	.084042	1.85	0.906
PC vs L	-.1596873	.1833819	-0.87	0.999
UK vs L	.9473553	.155086	6.11	0.000

fpopulism	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
G vs L	-.151493	.0758382	-2.00	0.858
10 vs L	.3472121	.0385539	9.01	0.000
Brx vs L	1.049907	.076318	13.76	0.000
SN vs LD	.4078511	.0934548	4.36	0.015
PC vs LD	.0928421	.187882	0.49	1.000
UK vs LD	1.199885	.160382	7.48	0.000
G vs LD	.1010364	.086152	1.17	0.995
10 vs LD	.5997415	.0561885	10.67	0.000
Brx vs LD	1.302437	.0865747	15.04	0.000
PC vs SN	-.315009	.1985218	-1.59	0.961
UK vs SN	.7920336	.1727241	4.59	0.007
G vs SN	-.3068147	.1073936	-2.86	0.418
10 vs SN	.1918904	.0852547	2.25	0.750
Brx vs SN	.8945858	.107733	8.30	0.000
UK vs PC	1.107043	.2374857	4.66	0.006
G vs PC	.0081943	.1951903	0.04	1.000
10 vs PC	.5068994	.1839408	2.76	0.474
Brx vs PC	1.209595	.1953772	6.19	0.000
G vs UK	-1.098848	.1688845	-6.51	0.000
10 vs UK	-.6001432	.1557465	-3.85	0.062
Brx vs UK	.1025522	.1691005	0.61	1.000
10 vs G	.4987052	.0771799	6.46	0.000
Brx vs G	1.2014	.1014631	11.84	0.000
Brx vs 10	.7026953	.0776514	9.05	0.000

ポピュリズムに関する質問項目5つを因子分析にかけ(1因子),信頼性係数をみたところ,.8131と十分大きいので,そのまま populism 因子得点を導出する。政党支持者ごとの平均を多重比較した。

• 欧州統合に関する政党および支持者の見解

欧州統合に関する質問(OEUと全面的に連帯すべき~10イギリスの独立を守るべき,11点スケール)の自己位置,保守党,自由党,自由民主党,

Brexit 党、それぞれの平均を計算し、19年における投票先別に自己位置の平均を多重比較 (Scheffé) した。また、特に労働党に関して、2005年の投票者と19年の投票者を比較するために、その自己位置の分布をヒストグラムに出した。

```
. tabstat EUIntegrationSelfW19 EUIntegrationLabW19 EUIntegrationBrexitW19 EUInt  
> egrationLDW19, stat (mean) by (p_past_vote_2019)
```

Summary statistics: mean
by categories of: p_past_vote_2019 (2019 GE vote choice)

p_past_vote_2019	EUI~fW19	EUI~bW19	EUI~tW19	EUI~DW19
C	8.372156	1.834358	9.162993	.7228842
L	3.073513	4.169312	9.377071	1.748941
LD	2.801746	4.859128	9.546453	1.722123
SN	2.673187	4.942105	9.401762	2.219925
PC	3.381503	4.336	9.280255	1.81457
UK	8.321429	2.157895	8.782609	1.409091
G	4.092166	4.181395	9.397436	1.72381
O	6.604294	2.860759	9.277027	1.12892
Brx	9.274084	1.50152	9.457983	.6184211
i	6.409091	2.798817	9.342857	1.260204
Total	5.690677	3.117698	9.30343	1.25277

```
. pwmean EUIntegrationSelfW19, over(partyIdW19) mcompare (scheffe) pv
```

Pairwise comparisons of means with equal variances

over : partyIdW19

	Number of Comparisons
partyIdW19	36

EUInteg~fW19 partyIdW19	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
L vs C	-4.032425	.0462276	-87.23	0.000
LD vs C	-4.906021	.0689287	-71.18	0.000
SN vs C	-5.100991	.1065266	-47.88	0.000

四九九

EUInteg~fW19	Scheffe			
	Contrast	Std. Err.	t	P> t
PC vs C	-4.369667	.2762925	-15.82	0.000
UK vs C	1.45858	.2322359	6.28	0.000
G vs C	-5.315336	.1002467	-53.02	0.000
10 vs C	-1.944559	.050407	-38.58	0.000
Brx vs C	1.629152	.1066915	15.27	0.000
LD vs L	-.8735967	.0707765	-12.34	0.000
SN vs L	-1.068566	.1077314	-9.92	0.000
PC vs L	-.3372419	.2767593	-1.22	0.993
UK vs L	5.491004	.2327911	23.59	0.000
G vs L	-1.282911	.1015261	-12.64	0.000
10 vs L	2.087865	.0529057	39.46	0.000
Brx vs L	5.661577	.1078945	52.47	0.000
SN vs LD	-.1949693	.1192486	-1.63	0.953
PC vs LD	.5363548	.2814425	1.91	0.889
UK vs LD	6.364601	.2383398	26.70	0.000
G vs LD	-.4093142	.1136738	-3.60	0.113
10 vs LD	2.961462	.0735744	40.25	0.000
Brx vs LD	6.535174	.119396	54.74	0.000
PC vs SN	.7313241	.2929277	2.50	0.621
UK vs SN	6.55957	.2517987	26.05	0.000
G vs SN	-.2143449	.1397086	-1.53	0.968
10 vs SN	3.156431	.1095899	28.80	0.000
Brx vs SN	6.730143	.1444027	46.61	0.000
UK vs PC	5.828246	.3583186	16.27	0.000
G vs PC	-.945669	.2907028	-3.25	0.227
10 vs PC	2.425107	.277488	8.74	0.000
Brx vs PC	5.998819	.2929877	20.47	0.000
G vs UK	-6.773915	.2492069	-27.18	0.000
10 vs UK	-3.403139	.2336569	-14.56	0.000
Brx vs UK	.1705727	.2518686	0.68	1.000
10 vs G	3.370776	.1034961	32.57	0.000
Brx vs G	6.944488	.1398344	49.66	0.000

EUInteg～fW19	Contrast	Std. Err.	Scheffe	
			t	P> t
Brx vs 10	3.573712	.1097502	32.56	0.000

(start=0, width=1)

Fig. 3-1 2005年労働党投票と欧州統合

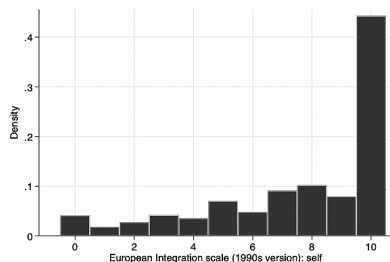


Fig. 3-2 2019年労働党投票と欧州統合

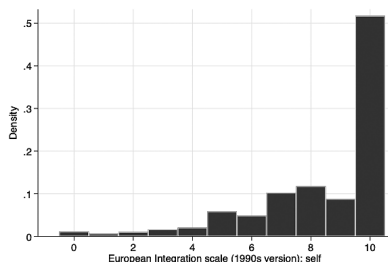


Fig. 3-3 2005年労働党投票と欧州統合

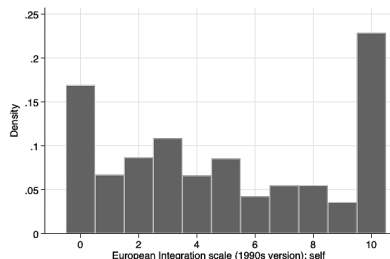
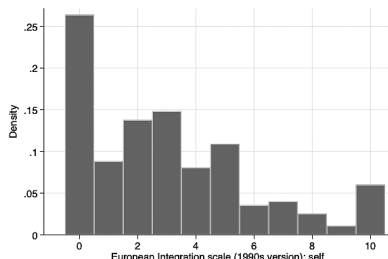


Fig. 3-4 2019年労働党投票と欧州統合



保守党、労働党それぞれに2005年の投票者と2019年の投票者の、2つの意見分布のヒストグラムがある。保守党の2つのヒストグラムは、10以外が薄くなっているが、大した違いはみられない。保守党は結構まえから欧州懷疑派市民の政党なのだ。もともと統合推進派はほとんどいなかった。他方、労働党2つのヒストグラム (Fig. 3-3, 3-4) を比較すると、2005年には労働党支持者のなかにも統合推進派と推進反対派がおり、明確な賛成派より明確な反対派のほうが多いくらいだったのに、16年レフェレンダムを経た19年になると、賛成派が増え、かなりの反対派が労働党支持を取り下げていることがわかる。

4. 多項ロジット回帰モデルおよびロジット回帰モデルの推定 B

4.1 多項ロジット回帰モデル

```
. mlogit v19 1.partyIdW19 2.partyIdW19 3.partyIdW19 10.partyIdW19 12.partyIdW20
> p_eurefvote howToReduceDeficitW17 p_educationW19 redistSelfW19 lr_scaleW20 a
> l_scaleW20 EUIntegrationSelfW19 immigSelfW20 partyContactCon_W19 partyContac
> tLab_W19 ethnic2 if v19!=7
```

```
Iteration 0: log likelihood = -1705.8385
Iteration 1: log likelihood = -1142.5241
Iteration 2: log likelihood = -1062.1462
Iteration 3: log likelihood = -969.96038 (backed up)
Iteration 4: log likelihood = -840.51369
Iteration 5: log likelihood = -807.25883
Iteration 6: log likelihood = -805.91326
Iteration 7: log likelihood = -805.89997
Iteration 8: log likelihood = -805.8967
Iteration 9: log likelihood = -805.89604
Iteration 10: log likelihood = -805.8959
Iteration 11: log likelihood = -805.89587
Iteration 12: log likelihood = -805.89586
```

```
Multinomial logistic regression      Number of obs      =      1,646
LR chi2(45)                          =      1799.89
Prob>chi2                            =      0.0000
Log likelihood = -805.89586          Pseudo R2          =      0.5276
```

v19	Coef.	Std. Err.	z	P> z	[95% Conf. Interval]		
C	(base outcome)						
L							
partyIdW19							
L	2.941269	.3085987	9.53	0.000	2.336427	3.546111	
LD	1.808659	.4161793	4.35	0.000	.9929621	2.624355	
10	1.360897	.3055023	4.45	0.000	.7621238	1.959671	
partyIdW20							
Brx	-.29.342	1868655	-0.00	1.000	-.3662526	.3662467	
p_eurefvote	-.4993723	.2909774	-1.72	0.086	-1.069678	.070933	
howToRedu~17	-.2273205	.1039088	-2.19	0.029	-.4309779	-.023663	
p_educa~nW19	.0091501	.0240574	0.38	0.704	-.0380016	.0563017	

v19	Coef.	Std. Err.	z	P> z	[95% Conf. Interval]	
redistSel~19	-.2570426	.0485643	-5.29	0.000	-.3522268	-.1618584
lr_scaleW20	-.4136449	.0719237	-5.75	0.000	-.5546128	-.272677
al_scaleW20	-.2585961	.0641344	-4.03	0.000	-.3842971	-.132895
EUInteg~fW19	-.4117633	.0482846	-8.53	0.000	-.5063995	-.3171272
immigSelfW20	.2013492	.0549913	3.66	0.000	.0935682	.3091302
partyC~n_W19	-.5860577	.2007432	-2.92	0.004	-.9795071	-.1926082
partyC~b_W19	.6071889	.1884654	3.22	0.001	.2378035	.9765743
ethnic2	-.8643079	.420719	-2.05	0.040	-1.688902	-.0397139
_cons	5.11469	.9656503	5.30	0.000	3.22205	7.00733
LD						
partyIdW19						
L	1.072444	.3247693	3.30	0.001	.4359075	1.70898
LD	2.025956	.3767126	5.38	0.000	1.287612	2.764299
10	.7541941	.2877579	2.62	0.009	.1901989	1.318189
partyIdW20						
Brx	-28.89038	3530267	-0.00	1.000	-6919226	6919168
p_eurefvote	-.7860774	.2988307	-2.63	0.009	-1.371775	-.2003801
howToRedu~17	-.1708106	.1077954	-1.58	0.113	-.3820858	.0404646
p_educa~n_W19	.0270813	.0251716	1.08	0.282	-.0222541	.0764167
redistSel~19	-.1246589	.0499353	-2.50	0.013	-.2225304	-.0267875
lr_scaleW20	-.2513403	.0689201	-3.65	0.000	-.3864213	-.1162594
al_scaleW20	-.1605718	.0644686	-2.49	0.013	-.2869279	-.0342158
EUInteg~fW19	-.4364624	.0484622	-9.01	0.000	-.5314465	-.3414783
immigSelfW20	.1859493	.0571755	3.25	0.001	.0738875	.2980112
partyC~n_W19	.0327555	.184393	0.18	0.859	-.3286481	.3941591
partyC~b_W19	.0038041	.2013976	0.02	0.985	-.3909279	.3985361
ethnic2	-1.033389	.4175725	-2.47	0.013	-1.851817	-.2149624
_cons	3.882338	.9801504	3.96	0.000	1.961278	5.803397
Brx						
partyIdW19						
L	1.062667	.4467377	2.38	0.017	.1870776	1.938257
LD	-12.53255	737.5293	-0.02	0.986	-1458.063	1432.998

v19	Coef.	Std. Err.	z	P> z	[95% Conf. Interval]	
10	-.3010435	.5702004	-0.53	0.598	-1.418616	.8165287
partyIdW20						
Brx	1.930732	.4538224	4.25	0.000	1.041257	2.820208
p_eurefvote	1.847089	1.097566	1.68	0.092	-.3041004	3.998278
howToRedu~17	.1791632	.1722347	1.04	0.298	-.1584105	.5167369
p_educa~nW19	.0120207	.0320177	0.38	0.707	-.0507329	.0747742
redistSel~19	-.0574706	.0680168	-0.84	0.398	-.190781	.0758398
lr_scaleW20	-.1205231	.1039763	-1.16	0.246	-.3243128	.0832666
al_scaleW20	-.0323038	.1194353	-0.27	0.787	-.2663926	.2017851
EUInteg~fW19	.0337266	.1338653	0.25	0.801	-.2286446	.2960978
immigSelfW20	-.0828223	.0979556	-0.85	0.398	-.2748116	.1091671
partyC~n_W19	-.313944	.2754617	-1.14	0.254	-.853839	.225951
partyC~b_W19	.320154	.3032478	1.06	0.291	-.2742008	.9145087
ethnic2	-.9349543	.6743461	-1.39	0.166	-2.256648	.3867397
_cons	-4.018844	1.975722	-2.03	0.042	-7.891187	-.1465002

. fitstat

Measures of Fit for mlogit of v19

Log-Lik Intercept Only:	-1705.839	Log-Lik Full Model:	-805.896
D(1578):	1611.792	LR(45):	1799.885
		Prob > LR:	0.000
McFadden's R2:	0.528	McFadden's Adj R2:	0.488
Maximum Likelihood R2:	0.665	Cragg & Uhler's R2:	0.761
Count R2:	0.803	Adj Count R2:	0.554
AIC:	1.062	AIC*n:	1747.792
BIC:	-10075.039	BIC*:	-1466.611

以上の結果を踏まえ、19年総選挙における投票を従属変数とする（多項）ロジット回帰モデルを推定する。従属変数 v19 はもともとの投票選択変数から地域政党と UKIP を除いて、保守党、労働党、自由民主党、Brexit の 4 肢からなっている。v19_2 は二大政党のみ。後者は従属変数が二択なので、ロジット回帰モデルで推定することとした。独立変数には、以下のものを選んだ。

variable	
1. partyIdW19=pid1	政党アイデンティフィケーション (保守党)
2. partyIdW19=pid2	(労働党)
3. partyIdW19=pid3	(自由民主党)
10. partyIdW20=pid10	(UKIP)
howTo~DeficitW17	回答者財政赤字削減方法 (5点)
p_educationW19	教育水準
redistSelfW19	回答者再分配自己位置 (11点)
lr_scaleW20	回答者左右スケール (20点)
al_scaleW20	回答者権威主義スケール (20点)
EUIntegrationSelfW19	回答者欧州統合自己位置 (11点)
immigSelfW20	回答者移民受け入れ自己位置 (11点)
partyContactCon_W19	保守党からの接触あり
partyContactLab_W19	労働党からの接触あり
ikeJohnsonW19	保守党党首 (首相)好き・嫌い (10点)
likeCorbynW19	労働党党首好き・嫌い (10点)
p_socgradeW19	社会経済階層 (6レベル)
p_eurefvote	EU レフェレンダム (残留 / 離脱)
englishnessW20	イングランド・アイデンティティ
likeCameronW9	キャメロン好き / 嫌い (11点)
likeFarageW9	ファラージ好き / 嫌い (11点)
satDemEUW10	EU 民主主義満足度 (4点)
Age	回答者年齢
gender	回答者ジェンダー
ethnic2	白人 / 非白人ダミー

多くの変数を投入したが、インターネット・パネル調査の特性とみられるが、スコットランドやウェールズのサンプルを無視してイングランドに絞った割には、ケース数は1,646ある。あくまで参考程度だが、擬似決定係数 (McFadden) が .5276あるのであてはまりとしては悪くあるまい。レファレンスカテゴリーは保守党への投票であるため、保守党への投票に対するそれぞれの政党への投票確率が上がることを示す。労働党への投票には、労働党アイデンティフィケーションが最大の影響をもつ。自由民主党へのアイデン

ティティを持っていること、政党支持がないことが労働党投票の確率にプラスの影響をあたえる（いずれも $p < .01$ で有意）。レフェレンダムで離脱を選択しているとマイナスだが有意にならない。労働党を支持するような属性をもっている、レフェレンダムでの意見は分かれた故だと考えられよう。歳出削減より増税志向（ $p < .05$ ）、再分配志向、左派志向、リバタリアン志向、欧州統合推進支持、移民流入への寛容がそれぞれ有意（ $p < .001$ ）である。年齢やジェンダーなどのデモグラフィック変数をコントロールに加えたが、有意になったのは白人・非白人ダミー変数（非白人）（ $p < .05$ ）のみであった。労働党からのコンタクト（ $p < .01$ ）、保守党からのコンタクト（符号ネガティブ、 $p < .01$ ）であった。近年保守党との間で教育水準の利き方が逆転しているという説がみられるので、効かなかったのがやや以外であった。自由民主党への投票については、政党アイデンティフィケーションが予想通りに効く。政党支持なしは保守党より自由民主党にプラスとなる（ $p < .01$ ）。レフェレンダムでの離脱投票がマイナスに有意（ $p < .01$ ）であり、労働党におけるより直截的である。ここでは財政再建への指針も回答者の教育水準も有意にならない。左派志向（ $p < .001$ ）、リバタリアン志向（ $p < .05$ ）ではある。統合には積極的である（ $p < .001$ ）。保守党・労働党からのコンタクトは無関係。非白人であることはプラスとなる（ $p < .05$ ）。Brexit への投票は、Brexit アイデンティティ、離脱投票がプラスだが、保守党との関係なためか、有意にならない。その他ほとんどの変数が有意にならないのは、サンプル数が多くないこともあろう。

4.2 ロジスティック回帰モデル（二大政党間選択）

```
Iteration 0: log likelihood = -905.74538
Iteration 1: log likelihood = -154.68286
Iteration 2: log likelihood = -125.3189
Iteration 3: log likelihood = -121.18478
Iteration 4: log likelihood = -121.1712
```

775 2019年イギリス総選挙：British Election Study Internet Panel データの予備的分析

Iteration 5: log likelihood = -121.17119

Logistic regression	Number of obs	=	1,397
	LR chi2(14)	=	1569.15
	Prob>chi2	=	0.0000
Log likelihood = -121.17119	Pseudo R2	=	0.8662

v19_2	Coef.	Std. Err.	z	P> z	[95% Conf. Interval]	
p_socgrad~19	.0572993	.1231207	0.47	0.642	-.1840128	.2986114
partyIdW19						
L	1.898404	.3801681	4.99	0.000	1.153288	2.643519
howToRedu~17	-.3802186	.1657873	-2.29	0.022	-.7051556	-.0552815
redistSel~19	-.2782653	.0791793	-3.51	0.000	-.4334539	-.1230767
EUInteg~fW19	-.1902265	.0655685	-2.90	0.004	-.3187383	-.0617147
immigSelfW20	.2454682	.084522	2.90	0.004	.0798082	.4111282
partyC~n_W19	-.3270403	.3465993	-0.94	0.345	-1.006362	.3522818
partyC~b_W19	.3340474	.2998819	1.11	0.265	-.2537102	.9218051
likeJohns~19	-.6900905	.0817039	-8.45	0.000	-.8502273	-.5299537
likeCorby~19	.5531797	.079891	6.92	0.000	.3965961	.7097632
ethnic2	-1.444303	.6362579	-2.27	0.023	-2.691346	-.1972608
lr_scaleW20	-.0550191	.1171461	-0.47	0.639	-.2846212	.174583
al_scaleW20	-.018408	.0948072	-0.19	0.846	-.2042266	.1674106
p_edlev~iW20	-.0189434	.1491393	-0.13	0.899	-.311251	.2733642
_cons	4.322927	1.572367	2.75	0.006	1.241144	7.404711

Measures of Fit for logit of v19_2

Log-Lik Intercept Only:	-905.745	Log-Lik Full Model:	-121.171
D(1381):	242.342	LR(14):	1569.148
		Prob > LR:	0.849
McFadden's R2:	0.866	McFadden's Adj R2:	0.488
Maximum Likelihood R2:	0.675	Cragg & Uhler's R2:	0.929
McKelvey and Zavoina's R2:	0.929	Efron's R2:	0.897
Variance of y*:	46.496	Variance of error:	3.290
Count R2:	0.969	Adj Count R2:	0.912
AIC:	0.196	AIC*n:	274.342
BIC:	-9758.973	BIC':	-1467.759

従属変数を二大政党の投票に絞ったバイナリにして、ロジスティック回帰を推定した。McFadden で .85, Efron で .89あるのであてはまりは悪くなくろう。労働党に対する投票の確率に対するプラスマイナスである。労働党アイデンティフィケーションは最大の効果をもつ ($p < .001$)。歳出削減による財政再建がマイナス ($p < .05$)、教育水準はやはり効かず、再分配拡大志向 ($p < .001$)、欧州統合志向 ($p < .01$)、移民受け入れ志向が有意 ($p < .01$)。上記の多項ロジットモデルと異なるのは保守党・労働党からのコンタクトは有意にならない。ジョンソン評価はマイナス、コービン評価はプラス (いずれも $p < .001$) 非白人はプラス ($p < .05$)。左右スケールや権威主義・リバタリアンスケールが効いてくれない。以上、投票行動としては、政党アイデンティフィケーションや、党首 (保守党においては首相) 評価 (好き・嫌い) が大きいこと、いくつかの政策的志向の影響がみられることなど、ひらたくいえば、社会経済的グレードや教育水準が効かないことを除けば B 以前の総選挙ととりたてて大きく異なるわけではなかった。選挙結果を解釈するうえでは、本稿が前半で試みたようなアグリゲート・データの分析を精緻に行うことが重要になるように思われる。ただし、4で行った多変量解析も大変荒っぽいものに止まっている。EU 残留・離脱を問うレフェレンダム時のデータもパネルに含まれているので、同時推定 (SEM) モデルの推定も試みたが、従属変数が (政党選択, 残留・離脱選択ともに) 連続変数でなくなることもあり、一般化 SEM を使用することになると Modification Index や一般的な Goodness of Fit が使えず、モデルの改善がうまく進まなくなった。さらに分析を進めることが必要なのはいうまでもない。

おわりに

上述したように、2011年に成立した議会任期固定法の趣旨からすると、あるいはそれ以前から総選挙のサイクルは4年か5年に固定されていたことから、2017年選挙以降のサイクルはややイレギュラーであり、しかも2016年

レフェレンダムを挟んでいる。選挙調査自体はインターネットを用いたパネル調査の形で行われているものの、2015年選挙までのようなBESデータに基づく本格的研究が追いついていない。COVID-19の蔓延がさらなる追い打ちになってもある。こうした状況を考えれば、本稿のような暫定的、予備的研究にも一定の存在意義はあるように思われる。言い訳がましいが、本稿の執筆は岡山大学および法学部に多年にわたり貢献された佐野寛教授の退職記念号に寄稿するため、比較的厳格な締め切りの制約のなかで進めており、十分な時間をかけることができなかった。他日を期したい。

References

- Curtice, John. 2020. "A Return to 'Normality' at Last ? How the Electoral System Worked in 2019." In, Jonathan Tonge, Stuart Wilks-Heeg, and Louise Thompson eds. 2020, *Britain Vote: The 2019 General Election*, Oxford University Press, 29-47.
- Fieldhouse, Ed, Jane Green, Geoffrey Evans, Jonathan Mellon, Christopher Prosser, R. de Geus, David J. Bailey, Hermann Schmitt, and Cees van der Eijk. 2020. *British Election Study Internet Panel Waves 1-20*. British Election Study.
<https://www.britishelectionstudy.com/data-objects/panel-study-data/>.
- Gardner, Carl. 2015. *What a Fix-up! : The Fixed-Term Parliaments Act 2011*. Carl Gardner (electoric).
- Hazell, Robert. 2010. *The Conservative-Liberal Democrat Agenda for Constitutional and Political Reform*. The Constitution Unit, UCL.
- Mellon, Jonathan. 2020. "Tactical Voting and Electoral Pacts in the 2019 UK General Election." *SSRN Electronic Journal*. <https://doi.org/10.2139/ssrn.3545550>.
- Labour Party 2019. *It's a Time for Real Change: The Labour Party Manifesto 2019*. Labour Party.
- The Conservative Party, 2019. *Get Brexit Done, Unleash Britain's Potential : The Conservative and Unionist Partymanifesto*. The Conservative Party.
- Uberoi, Elise, Carl Baker, Richard Cracknell, Grahame Allen, Nerys Roberts, Cassie Barton, Georgina Sturge, et al. 2020. *General Election 2019: Results and Analysis. 2nd Edition (Cbp-8749)*. House of Commons Library Briefing Paper.
- Walker, Nigel. 2020. *Brexit Timeline: Events Leading to the Uk's Exit from the European Union (Cbp-7960)*. House of Commons Library.
- 小松 浩, 2020, 『議会制民主主義の現在：日本・イギリス』, 日本評論社。
- 庄司克宏, 2019, 『ブレグジット・パラドクス：欧州統合のゆくえ』, 岩波書店。
- 河島太朗, 2012, 「イギリスの2011年議会任期固定法」, 『外国の立法：立法情報・翻訳・解説』。
- 小堀真裕, 2019, 『英国議会「自由な解散」神話：解釈主義政治学からの一元型議院内閣制論批判』, 晃洋書房。